

官報

號 外

大正十二年十二月二十三日(日曜日) 印刷局

第四十七回 衆議院議事速記録第八號

大正十二年十二月二十二日(土曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第七號 大正十二年十二月二十二日

午後一時開議

- 第一 大正十二年勅令第四百十二號(承諾ヲ求ムル件)(權利利益ノ存續期間ノ件)(貴族院送付)
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 大正十二年勅令第四百七十一號(承諾ヲ求ムル件)(株主名簿ヲ喪失セル會社ノ件)(貴族院送付)(委員長報告)
- 第四 大正十二年勅令第四百七十五號(承諾ヲ求ムル件)(法人ノ破産宣告ニ關スル件)(貴族院送付)(委員長報告)
- 第五 露國政變及事變ニ關スル被害者救済並對露貿易企業促進ニ關スル建議案(川崎克君外九名提出)
- 第六 現役ヲ終リタル在郷軍人ニ選舉權附與ニ關スル建議案(津野田是重君外五名提出)
- 第七 國政ノ大改造ニ關スル建議案(荒川五郎君提出)
- 第八 輸入稅免除廢止ニ關スル建議案(小橋三衛君外一名提出)

第九 震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案(星島二郎君提出)

第十 燒失遊廊再興不許可ニ關スル建議案(松山常次郎君外二名提出)

第十一 農務省新設ニ關スル建議案(天春文衛君外九名提出)

第十二 農村振興ニ關スル建議案(大津淳一郎君外十一名提出)

第十三 震災地方復興ニ關スル建議案(吉植庄一郎君外二十四名提出)

第十四 震災地方復興ニ關スル建議案(小泉又次郎君外十三名提出)

第十五 決議案(廢止緊急勅令提出ノ件)(原夫次郎君提出)

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔原田書記官朗讀〕

一去二十日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

大正十二年勅令第四百十二號(承諾ヲ求ムル件)(權利利益ノ存續期間ノ件)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

震災地方復興ニ關スル建議案

提出者 吉植 庄一郎君 濱口 吉兵衛君

中山 佐市君 本多 貞次郎君

竹澤 太一君 西川 嘉門君

飯島 鶴澤 總明君 鈴木 隆君

飯島 信明君 穴水 要七君

三枝 彦太郎君 指田 義雄君

長谷川 宗治君 秦 豐助君

山崎 猛君 龍野 周一郎君

若尾 幾造君 大濱 忠三郎君

森 格君 小鹽 八郎右衛門君

松浦 五兵衛君 小泉 策太郎君

宮崎 友太郎君 池田 猪三次君

北井 波治目君

震災地方復興ニ關スル建議案

提出者 小泉 又次郎君 出口 直吉君

小野 重行君 田川 平三郎君

加藤 定吉君 鈴木 富士彌君

井上 剛一君 石井 研二君

關 和知君 鶴澤 宇八君

神谷 彌平君 野呂 文太郎君

高田 良平君 齋藤 小十郎君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

復興費財源及國債ノ負擔ニ關スル質問主意書

提出者 多木久米次郎君 (以上十二月二十日提出)

支那政府特派調査委員ノ資格及待遇ニ關スル質問主意書

提出者 永井 柳太郎君 (以上十二月二十一日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一去二十日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

大正十二年勅令第四百三十一號(承諾ヲ求ムル件)
(治安維持ノ爲ニスル罰則ノ件) 委員

委員長 鷗澤 總理 理事 原 夫次郎君
委員 鷗澤 總理 理事 原 夫次郎君

去二十日大正十二年勅令第四百三十四號(承諾
ヲ求ムル件)(手形割引損失補償ノ件)委員 成田
榮信君 辭任ニ付其ノ補闕トシテ大道寺慶男君ヲ
保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案外一件
委員 武內作平君 辭任ニ付其ノ補闕トシテ作間耕
逸君ヲ大正十二年勅令第四百三十三號(承諾ヲ求
ムル件)(治安維持ノ爲ニスル罰則ノ件)委員 望月
小太郎君 辭任ニ付其ノ補闕トシテ鈴木富士彌君
ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

一昨二十一日大正十二年勅令第四百三十三號(承諾
ヲ求ムル件)(治安維持ノ爲ニスル罰則ノ件)委員
川村數郎君 辭任ニ付其ノ補闕トシテ木村作次郎
君ヲ議長ニ於テ選定セリ

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日
程第一大正十二年勅令第四百三十二號(承諾ヲ求
ムル件)ヲ議題ト致シマス——竹內政府委員

第一 大正十二年勅令第四百三十二號(承
諾ヲ求ムル件)(權利利益ノ存續期
間ノ件)(貴族院送付)

大正十二年勅令第四百三十二號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ
經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ震災地ノ行政
廳ノ權限ニ屬スル處分ニ基ク權利利益ノ存續期
間等ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

攝政名

大正十二年九月十二日

內閣總理大臣兼	伯爵山本權兵衛
外務大臣	子爵後藤 新平
文部大臣	岡野敬次郎
海軍大臣	財部 彪
陸軍大臣	男爵田中 義一
農商務大臣	男爵田 健治郎
逓信大臣	犬養 毅
司法大臣	平沼騏一郎
鐵道大臣	山之內 一次
大藏大臣	井上準之助

勅令第四百三十二號
震災地ノ行政廳ノ權限ニ屬スル處分(大正十二
年九月一日以前ニ爲シタルモノ)ニ基ク權利利
益ノ存續期間ニシテ大正十二年九月一日ヨリ大
正十三年三月三十一日迄ノ間ニ滿了スヘキモノハ
之ヲ大正十三年三月三十一日ニ滿了スルモノト
看做ス但シ本令ノ施行前又ハ施行後法令ニ依リ
其ノ權利利益ノ消滅スヘキ旨ノ指令其ノ更新ヲ
許ササル旨ノ指令其ノ他其ノ存續期間ノ滿了ニ
關スル特別ノ指令アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラ
ス

前項ノ規定ニ依リ延長セラレタル期間ハ行政處
分ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ得

震災ノ爲大正十二年九月一日ヨリ同年十月三十
日迄ノ間ニ行政廳ニ對シテ爲スヘキ出願、請求
其ノ他ノ手續ヲ懈怠シタル場合ニ於テ大正十二
年十月三十一日迄ニ其ノ手續アリタルトキハ當
該行政廳ハ其ノ懈怠ノ結果ヲ免レシムルコトヲ
得

震災ノ影響ニ因リ必要アルトキハ勅令ノ定ムル
所ニ依リ前項ノ期限ハ之ヲ延期スルコトヲ得
第一項ノ震災地ノ行政廳及權利利益並前四項ノ

規定ノ施行ニ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定
ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員竹內友次郎君登壇)

○政府委員(竹內友次郎君) 只今議題ニ上ツテ居
リマスル、本年九月十二日ニ公布致シタル本
年勅令第四百三十二號ノ權利利益ノ保存ニ關スル件
ニ付キマシテ、憲法ノ條章ニ依ツテ議院ノ承諾ヲ
求メマスル次第デゴザリマスルガ、其趣旨ノ大要
ヲ茲ニ申上ゲマス、御承知ノ如ク九月一日ノ地震、
之ニ亞グ大火災ニ因リマシテ、東京ニ於ケル行政
廳ノ書類ノ大部分ヲ不幸ニシテ燒失致シマシタ、
又權利利益ヲ有スル當事者ノ持ツテ居ル書類ガ燒
失シタコト鈔カラズト認メラル、ノデゴザリマ
ス、是ガ爲ニ九月一日以前ニ行政廳ノ處分ニ依リ
マシテ、之ニ基イテ生ジタル權利利益ガ、此九月
一日以後ニ於テ其存續期間ガ到來スルモノガ鈔カ
ラズアルト認メラル、ノデゴザリマスルガ、是ガ
書類ガゴザリマセヌガ爲ニ、適法ナル手續ヲ以テ
之ヲ繼續シ、若クハ其他ノ存續手續ヲ進行スルコ
トガ、役所ト致シマシテモ、當事者ト致シマシテ
モ、事實上出來ナイト云フ不幸ノ場合ニ到著致シ
タノデゴザリマス、ソレデスノ如キ種類ノモノ
ニ對シテ、概括的ニ一定ノ期間ノ間ハ、其期間ガ
到來シナイモノト認メル、即チ大正十三年ノ三月
三十日迄ハ期間ガ存續スルモノト認メルト云フコ
トノ規定ヲ致ス必要ガアルノデ、茲ニ法律事項ト
相成リマスル結果ヲ生ズル所カラ、政府ハ必要ナ
リト認メテ、憲法ノ定ムル所ニ依ツテ緊急勅令ヲ
公布致シマシタ次第デゴザリマス、詳細ノコト、
即チ如何ナル權利ガ、如何ナル利益ガ、如何ナル法
律ニ基イテ行政處分ニ依ツテ發生スルカ、又ソレ
ハ如何ナル行政廳ニ關係スルカ、ト云フ詳細ノ事

項ニ互リマシテハ、何レ委員會ニ御付託ノ際、詳細申上ゲル考デゴザリマス、此次第デゴザリマスルノデ、政府ハ將來ニ互リマシテ向ホ此本令ノ存續ヲ必要トスルモノト考ヘテ居ル次第デゴザリマス、何卒慎重御審議ノ上、速ニ承諾ヲ御與ヘ下サランコトヲ望ミマス 次第デゴザリマス

○議長(柏谷義三君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○高見之通君 本案ハ大正十二年勅令第四百九號、承諾ヲ求ムル件、即チ府縣會議員任期ノ件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(柏谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第三、大正十二年勅令第四百七十一號、承諾ヲ求ムル件、日程第四、大正十二年勅令第四百七十五號、承諾ヲ求ムル件、右兩案ヲ一括シテ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長指田義雄君

第三 大正十二年勅令第四百七十一號(承諾ヲ求ムル件)(貴族院送付)(委員長報告)

報告書
一大正十二年勅令第四百七十一號(承諾ヲ求ムル件)(貴族院送付)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十二年十二月二十日

大正十二年勅令第四百七十一號
(承諾ヲ求ムル件)委員長
指田 義雄

衆議院議長柏谷義三殿

第四 大正十二年勅令第四百七十五號
(承諾ヲ求ムル件)(法人ノ破産宣告ニ關スル件)(貴族院送付)
(委員長報告)

報告書

一大正十二年勅令第四百七十五號(承諾ヲ求ムル件)(貴族院送付)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十二年十二月二十日

大正十二年勅令第四百七十五號(承諾ヲ求ムル件)
委員長 指田 義雄

衆議院議長柏谷義三殿

○指田義雄君 兩案ノ御報告ヲ致シマス、大正十二年勅令第四百七十一號ハ、記名式ノ株式、株主名簿焼失等ノ場合ニ於キマシテ、總會ニ關スル便宜規定デアリマス、要スルニ記名式ノ場合ニ於テモ、無記名式ト同様ニ公告其他ノ或ル方法ヲ以テ、總會ニ關スル手續ヲ適法ニ運ブコトガ出來ルト云フ結果ニナルノデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、異議ナク承諾ヲ與フルコトニ決定致シタノデアリマス、次ノ勅令第四百七十五號承諾ヲ求ムル件、是ハ結果ト致シマシテハ委員會ハ承諾ヲ與フルコトニ決定シタノデアリマス、茲ニ本議場ニ特ニ御報告ヲ申上ゲテ置カスバナラヌコトガアルノデアリマス、本令ハ御承知ノ如ク法人ニ對スル破産ノ手續ヲ債務超過ノ場合ニ於キマシテハ、大正四年八月三十一日迄其原因ガ震災ノ影響ニ因ル場合ニ於キマシテハ、破産宣告ヲ爲スコトヲ得ズト云フコ

トヲ根本ノ目的ト致シマシタ法令デアアルノデアリマス、之ヲ結果カラ見マスルト、勅令ニ依ツテ法律ニ定メラレタ所ノ破産宣告ト云フモノヲ爲スコトヲ得ザルコトニ變ヘルノデアリマス、言換ヘレバ法律ノ效力ヲ、勅令ヲ以テ或ル期間阻止スルト云フコトニナルノデアリマス、由來此緊急勅令ガ總テノ行政上ノ處分ニ互リマス場合ハ、是迄モ其先例ガアルノデアリマスガ、法律ノ效力ヲ勅令ニ依ツテ或ル期間阻止スルト云フコトハ、非常ニ憲法上重大ナ意味ヲ持ツテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ事ハ將來餘リ喜バシキ事例デナイト委員會ハ認メマシテ、尙ホ此運用ノ上ニ付キマシテ、或ハ震災ノ影響ニ因ツテ債務ヲ超過シタモノデアアルカドウカト云フ實際問題ニ付テモ、大ニ訴訟ノ上ニ種々ナル紛淆ヲ生ズル虞ガアルノデアリマス、此勅令ガアルガ爲ニ却テ訴訟當事者ノ間ニ不必要ナル爭ヲ生ズルヤウナコトガアルマイカト云フ懸念ガゴサイマシテ、此點ニ付キマシテ詳細ニ互ツテ、委員會ハ司法當局ニ向ツテ質疑ヲ致シマシタノデゴザイマスルガ、司法當局ニ於キマシテハ、大體斯様ナ立法ハ面白クナイト云フコトヲ能ク諒解シテ居ル、唯、非常ノ場合デアツテ、應急的ノ斯様ナル處置ヲスル必要アリト認メタノデアリカラ、委員會ノ意ノ在ル所ヲ能ク諒解致シマシテ、此勅令ハ成べく速ニ廢止スル意向ヲ持ツテ居ル、斯様ナ言明ヲ得タノデゴザイマスカラ、委員會ハ滿場一致此言明ヲ諒ト致シマシテ、本案ニ承諾ヲ與ヘルコトニナツタノデゴザイマス、本會ニ於キマシテモ、其意味ニ於キマシテ、兩案トモ御承認ヲ與ヘラレンコトヲ希望スルノデアリマス

○議長(柏谷義三君) 右兩案ニ對シテ、討論ノ通告ハアリマセヌ、仍テ直ニ採決ヲ致シマス、右兩案トモ、委員長報告ノ通り、承諾ヲ與フルニ、御異議アリマセヌカ

○議長(柏谷義三君) 異議ナシト呼起ル

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ、日程第五、露國政變及事變ニ關スル被害者救済並對露貿易企業促進ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、清水留三郎君

第五 露國政變及事變ニ關スル被害者救済並對露貿易企業促進ニ關スル建議案

露國政變及事變ニ關スル被害者救済並對露貿易企業促進ニ關スル建議案(川崎克君外九名提出)

露國政變及事變ニ關スル被害者救済並對露貿易企業促進ニ關スル建議案

露國政變及事變ニ關スル建議案

政府ハ露國政變及西比利亞事變並撤兵ニ際シ直接又ハ間接ニ損害ヲ被リタリ帝國臣民ニ對シ其ノ損害ヲ救済スルト共ニ對露貿易企業ノ促進ニ資スル爲速ニ適當ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○清水留三郎君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ御許ヲ願ヒマス、此建議案ハ第四十五議會、第四十六議會ニ於キマシテ、滿場一致之ヲ可決シタノデアリマス、然ルニ其後ニ於キマシテ、政府ハ何等ノ處置計畫ヲシナイノデアリマスカラ、速ニ貿易企業促進ノ途ヲ講ゼラレマシテ、日露救済關係ノ復活改善ニ資セラレムコトヲ建議スル次第デアリマス、前會通リ御賛成ヲ願ヒマス

○高見之通君 本案ハ森恪君外三名提出、相模西部復興ニ關スル建議案ノ委員ニ、併セ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第六、現役ヲ終リタル在郷軍人ニ選舉權附與ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者津野田是重君

第六 現役ヲ終リタル在郷軍人ニ選舉權附與ニ關スル建議案(津野田是重君外五名提出)

現役ヲ終リタル在郷軍人ニ選舉權附與ニ關スル建議案

現役ヲ終リタル在郷軍人ニ選舉權附與ニ關スル建議案

選舉權ハ固ヨリ報酬的ノ性質ヲ有スルモノニ非スト雖抑國家ヲ保護シ國權ヲ維持スヘキ義務ヲ有シ而モ前後十七年四箇月間ノ長年月ニ互リテ此ノ任務ヲ履行スヘキ義務ヲ有スル者カ何故國政ニ參與スヘキ資格ヲモ認メラレサルカ如キハ不合理モ亦甚シキヲ謂ハサルヘカラス況ヤ其ノ任務ヲ遂行スル爲短キモ數月長キハ數年間特別ノ教育ヲ受クルニ於テオヤ故ニ政府ハ切ニ如上ノ諸點ヲ考察シ速ニ合法的處置ヲ採ラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔津野田是重君登壇〕

○津野田是重君 提案ノ理由ヲ單簡ニ申シマス、本案ハ私共同僚多數ガ多年ニ互リマシテ、切ニ要求シテ居ル所ノ重大件デアリマスガ、固ヨリ權利義務ノ觀念カラ出發シテ居ルノデアリマセヌ、御承知ノ通り現行徵兵制度ナルモノハ、必任義務法、即チ強制的ノ制度デアリマシテ、前後通ジテ十七箇年四箇月ニ互ル長年月ノ間、血稅ヲ負擔スルノデアリマス、此血稅ヲ負擔スルガ爲ニ、短キハ數箇月、長キハ數年ニ互ツテ特別ナル教育ヲ受ケマス、然ルニ此國家ヲ保護シ、國權ヲ維持スベキ軍人ガ、何等政治ニ關與スルノ權利ガナイト云フコトハ、如何ニモ不合理ト考ヘマス、故ニ本案ヲ提出シタ譯デアリマスガ、聞ク所ニ依リマスレバ、

近キ將來ニ於テ——來ルベキ通常議會ニ於テハ、選舉權ニ關スル問題ガ當局カラ御提議ニナルト云フコトデアリマスカラ、斯ノ如キ短イ臨時議會ニ於テ茲ニ提出シタノデアリマスカラ、何卒私共ノ微衷ノ存スル所ヲ御酌量ニナリマシテ、滿場諸君ノ御賛成ヲ與ヘラレムコトヲ希望シマス

○高見之通君 本案ハ大正十一年勅令第四百九號、承諾ヲ求ムル件、即チ府縣會議員任期ノ件外一件ニ、併セ付託セラレムコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第七、國政ノ大改造ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者荒川五郎君

第七 國政ノ大改造ニ關スル建議案(荒川五郎君提出)

國政ノ大改造ニ關スル建議案

國政ノ大改造ニ關スル建議案

曠古未會有ノ大災厄ニ遇ウテ有形ノ諸物ヲ燒キ盡スト同時ニ總テ捉ハレタル舊慣故弊ヲ打破シ去リテ諸般ノ制政ノ大改造ヲ爲シ又政費ノ根本的節約ヲ圖ルハ刻下極メテ緊切ノコトニシテ殊ニ左ノ諸項ノ如キハ最急速銳意ニ之カ調査改善ヲ爲スノ要務タルヲ認ム

第一 租稅ヲ全廢シテ國費ヲ道府縣市町村ニ賦課徵收シ以テ國民負擔ノ均衡ヲ圖ルト共ニ大ニ事務ノ簡捷徵費ノ節約ヲ圖ルコト

第二 國務省ヲ分合シテ大藏、內務、外務、軍務、交通、勸業ノ六省トシ國務ノ統一整理ヲ圖ルコト

一 司法文部兩省ヲ廢シ文部省及司法省務中ノ一部即チ刑務所、少年ニ關スルモノ等ヲ內務省ニ合スルコト

二 陸軍海軍兩省ヲ合シテ軍務省トシ航空事

業並其ノ教養機關等モ總テ之ニ統一スル
コト

三 逕信鐵道兩省ヲ合シテ交通省ヲ置キ内務
道路ニ關スル事務ヲ分屬シ鐵道港灣道路
等ノ政務ヲ連絡統一スルコト

第三 大審院ノ制ヲ改メ其ノ權限ヲ擴張シ裁判
獨立ノ完全ヲ圖ルコト

司法省務中ノ人事又法務等ニ關スルモノヲ大
審院ニ分屬スルコト

第四 會計検査院ノ權限ヲ擴張シ財政監督ノ實
ヲ舉クルコト

第五 地方制度ヲ刷新シ自治ノ整理改善ヲ圖ル
コト

一 府縣ノ分合ヲ爲シ其ノ組織ヲ改メ其ノ權
限ヲ擴張スルコト

二 町村ハ凡ソ人口五千ヲ標準トシテ之カ分
合ヲ行ヒ郵便登記ノ事務モ之ヲ役場内ニ
分置スルコト

第六 學制ノ根本的改造ヲ爲シ學科ヲ整理減少
シ外國語ハ之ヲ希望者ニノミ課スルコト

第七 特立ノ帝國大學院ヲ新設シ各國語ニ堪能
ナル學者大家ヲ收容シ左ノ三事ヲ掌行スルコ
ト

一 各國ノ著書ヲ悉ク讀ミ易キ國語ニ翻譯刊
行スルコト

二 前項民間翻譯書ヲ檢定買收スルコト

三 此ノ種專門學者ヲ養成スルコト

其ノ他議院制度ノ改善植民地政務ノ統一行政裁
判所組織ノ改正等孰レモ之カ必要ヲ認ムルモノ
尠カラズ仍テ政府ハ之カ大調査會ヲ組織シ速ニ
其ノ改造實行ニ著手セムコトヲ望ム

右建議ス

〔荒川五郎君登壇〕

○荒川五郎君 國政ノ大改造ニ關スル建議提案ノ

官報號外 大正十二年十二月二十三日

衆議院議事速記第八號 議事日程第七ノ件

趣旨ヲ説明申シマス、天災ナキ國民ハ發達セズト
申ス言葉ガアリマス、我國ハ大風アリ、大雨アリ、
大海嘯アリ、更ニ大地震ガアリ、又大火モ屢、ア
リマシテ、世界ニ於ケル最モ天災ノ多キ國ノ一ツ
デアリマセウ、天災ハ果シテ國民ヲ發達セシムベ
キヤ否ヤ、徒ニ天災アルノミデハ、ソレハ大ナル
國民ノ禍デアリマス、唯、ソレ天災ニ遭ツテ失望
セズ、落膽セズ、更ニ反撥心ヲ發揮シテ、天災ト
闘ヒ、發展アル所以デアリマセウ、此度ノ事、世間
ニハ之ヲ國難トスラ申ス人ガアル位デアリマス、
私ハ之ヲ國難ト申スノニハ當ラナイト思ヒマス、
國家ノ大ヨリ言ヘバ一部分ノ事デアリマシテ、マ
ダ大ナル難題ハ之アルベキヲ豫想シ得ラレル
ノデ、其場合ニ於テモ、敢然トシテ勇往邁進シテ努
力シテ解決セバハナラヌコトデアリマシテ、ソレダケ
ノ健剛不拔ノ國民精神ハ平素ニ於テシツカリ養成
シテ置カナクハハナラヌト思ヒマス、而シテ此度
ノ事、國難ト云フニハ當リマセヌケレドモ、古來未
ダ付テ無キ災厄デ、多クノ人命ト物資財產等ノ有
形ノ損害百有餘億ト云フノモ、既ニ少クハアリマ
セヌガ、其外政治又文化、又ハ人心ノ上ニ與ヘタ
損害ハ、實ニヨリ以上ニ多ク、更ニ當時周章狼狽
シ、疑懼混亂シテ、無辜ノ同胞ヲ殺害シ、友邦人
ヲ誤殺シタル等ノ國損ハ、ヨリ以上甚大ト申サナ
ケレバナラヌ、斯様ナ國損民害ノ大ナルダケソレ
ダケ、吾々ハ一層ノ大勇猛心ヲ以テ、之ガ回復振
興ニ努力シナケレバナラヌコトハ、申ス迄モアリ
マセヌ、在朝ノ人モ、在野ノ人モ、全國民ヲ舉ゲ
テ、共ニ明治維新ノ志士ガ一身ヲ捧ゲテ至誠奮闘
シタル眞剣味ニ倣ヒ、又弘安ノ役上下身ヲ以テ國
難ニ當ツク緊張心ヲ以テ、銳意其事ニ從ハナクテ
ハナリマセヌ、ソレニハ先ヅ第一ニ國政ノ根本的
改造ニ著手致シテ、以テ天下ノ人心ヲ一新スルコ

トハ、一代ノ國民ヲ指導シテ實實剛健ノ氣分ヲ養
ヒ、國民精神ヲ作興スル效ガ尠クナイノミナラズ、
仍テ以テ國民ノ富ノ上ニ於ケル負擔、精神上ノ負
擔ヲ減ジ、人間實際ノ眞髓ニ觸レタル生活安定ヲ
第一義ト致シテ、ヨリ住ミ好キ、ヨリ幸福ナル社會
ヲ打開スルコトハ、時機ノ最モ劃切ナル仕事ト申
サナケレバナリマセヌ、明治以來幾多ノ改革變遷
ハ行ハレマシタケレドモ、眞骨頭ニ觸レタル根本
的ノ改善ハマダ見出シマセヌ、洋服ヲ著、靴ヲ穿
キ、外觀ハ時代的、世界的ニ變遷シテ來マシタケレ
ドモ、其頭腦精神ハ矢張專制的、封建的ノ舊思想ガ
コビリ付イテ、兎角多年馴致シ來レル舊弊陋習
ニ因ハレ、因循姑息ニ流レ、時ニ財政行政ノ整理ガ
行ハレルコトガアリマシテモ、根本ノ精神ニ觸レ
ズシテ、唯、枝葉末節ノ小細工ニ止マリマスカラ、
恰モ甘キニ集マル蠅ヲ追フ如ク、拂ヘドモ拂ヘド
モ、數年ナラズシテ又元ノ狀態ニ復ツテ來ル有様
デアリマス、洵ニ滿室ノ蒼蠅拂ヘドモ去リ難キ感
ヲ繰返シテ居ルニ止マルノデアリマス、仍テ此際、
此大災厄ニ遭ウテ有形ノ諸物質ヲ燒盡スト同時ニ、
無形ノ精神上ノ腐敗墮落等モ、悉ク打破シ去リ、
又因ハレタル思想、因ハレタル舊慣、弊習、ソレ等
モ皆破却シ去ツテ、全ク新生更始ノ大意氣ヲ以テ
是ガ改造ニ從事シ、速ニ大々的ノ調査會ヲ起シタ
イト私ハ衷心ヨリ切望致シテ居ルノデアリマス、
實ハ私ハ先年來他事ヲ抛ツテ是等ニ關シテ調査研
究ニ從事致シマシタ、半生ノ心血ヲ此處ニ注イデ、
出來上ツタ上ハ著述ニモシテ、世ニ問ヒタイト思
ツテ居ツタノデアリマスガ、斯様ナ改革ハ平常デ
ハ容易ニ行ハレマセヌ、今日ノ如キ時機ヲ選バガ
最モ必要ト心得マシテ、此度此案ヲ提出致シマシ
タ次第デアリマス、以下各項ニ互リ、簡單ニ其要
旨ヲ説明致シマス、第一、租稅ヲ全廢シテ國費ヲ
分賦法ト致スコト、全體此項ノミヲ説明致スニモ、

少クトモ大凡二時間位ハ必要デアリマス、ケレドモ短期議會、殊ニ切迫ノ今日、總テノ執著ヲ取去ツテ、唯、項目ノミヲ述ベマス、租稅ノ弊トスル所ヲ列舉スレバ凡ソアリマス、第一ハ煩雜ナル現行ノ大小各種ノ稅法ハ、國民ヲシテ其煩ニ堪ヘザラシムルコト、第二、諸稅法中ニハ徵稅手續ノ爲ニ大ニ手數ヲ要シテ、唯、徵稅スルガ爲メノ徵稅トナツテ、納稅者ヲ苦メルノミテ、國費ノ上ニ利益スル事ガ極メテ乏シイモノガアリマス、第三、一方ニハ重複スルモノガアリ、一方ニハ全ク免カサルモノガアリ、極メテ不公平、不均一デアルコト、第四、什器、骨董、其他贅澤品等ニ財力ヲ殺シテ、天下ノ財產ヲ無收益化スル弊害アルコト、第五、國民ヲシテ申告ヲ偽リ、脫稅ヲ企テ、不正、詐偽ノ民風ヲ誘フ弊アルコト、第六、免稅最下點ヲ設クルコトハ國民ノ向上心進取ノ氣象ヲ妨グル嫌アルコト、國民ハ一步一進上達セシケレバナラヌモノヲ、進歩スレバ稅ガ掛カルカラト、進取ニ阻礙スルト云フヤウナコトハ、國民ヲ率ユル政道ノ本旨デハナイト思ヒマス、第七、正直者ハ重稅ニ虐ゲラレ、不正直者ハ免レテ耻無キ有様デアルト云フコト、第八、官吏ト納稅者ト利益ガ相反スルカラ、官吏ハ人民ヲ不正ノ者トシテ之ニ臨ミ、人民ハ官吏ヲ仇敵ノ如ク視テ、互ニ相反目敵視スル爲ニ、一般施設ノ圓滑ヲモ障害致スコト、第九、國稅ト地方稅ト互ニ相干格闘致シテ、種々ノ弊害ヲ醸スコト、第十、地租ノ如キハ鐵道道路等ノ開クルニ從ヒ、經濟狀態ノ變化ヲ生ジマスルカラ年々地價ヲ修正シテモ尙ホ公平ヲ期スルコトガ出來マセヌ、以上斯様ニ租稅ハ國民ノ進取心ヲ殺ギ、不公平ニシテ、不正其他ノ弊害ガアリマスカラ、之ヲ全廢致シテ、全國民ノ負擔力、並ニ各地方ノ經濟狀態ニ應ジテ、總國費ノ中、官有財產ノ收入、官業收入等ヲ差引イタル殘額ヲ、道府縣ニ割賦致シ、道府縣ハ此國費ニ又自己

ノ要費ヲ加ヘテ市町村ニ分賦致シ、市町村ハ又之ニ自治ノ要費ヲ合セテ人民カラ徵收スル方法ニ改メタイ、之ニ依ツテ國民負擔ノ均衡ヲ得ルト共ニ、徵收費ヲ大ニ減ズルコト、並ニ大ニ事務ノ簡捷ヲ圖ルコトガ出來ルト思フ、サウシテ其國民ノ負擔力ノ調査方法等ニ付テハ、是ガ公明且ツ正確ヲ期スル法令ヲ設ケルコトノ必要ナルハ勿論デアリマス、ケレドモ、是等ノ意見ハ此場合省キマス、第一、國務省分合ノコト、今日ノ各省ノ分配ハ一省アルガ爲ニ事務ガアル、又一事務ニシテ兩省ニ分割セラレタリ、或ハ二様ニ支配セラレルヤウナ極メテ不統一ノモノモアリマシテ、爲ニ事務ノ煩雜ヲ來シ、目ツ人民ノ不便ヲ感ズルコトモ少クアリマセヌ、例バ青年團其他社會教育、社會團體ノコトヲ一方ニハ內務省デ指圖スルカト思ヘバ、他方デハ文部省デ支配致シテ居ル、從テ一ツノコトヲ通達スルニモ內務、文部兩大臣ノ連署ヲ以テセネバナラス等、無用ノ手數タルニ止ラズ、青年團等ノ適從スル所ヲ知ラズ、迷惑少クナイノデアリマス、又少年法ニ關スル仕事ノ如キモ、第一步ハ司法省デ扱ヒ、其中間ノ主ナル感化院ノコトハ內務省デ取扱ヒ、又第三步ハ戻ツテ司法省デ管轄スルト云フヤウニ、洵ニ不統一ノ至リデ、ソレガ爲ニ國費ヲ損シ、少年法ノ精神ナリ目ヲ妨グルコトハ、ドレダケデアルカ分ラヌノデアリマス、殊ニ國運ノ進歩、民力ノ發展ヲ期スル第一ハ文部文教ノ仕事デアリマス、國運進歩ノ第一線ニ立ツベキ人ヲ造ル其教育學問ノ仕事ハ、國務省第一ノ大切ナル仕事デアリマス、文部省食ノ爲ニ此最大ノ仕事ガ常ニ最モ手遅レニナル有様デアリマス、且ツ文部ノ徵收力ナル、折角自ラ働イテ造リ上ゲタ仕事ヲモ、漸次ニ內務省ニ吸收セラル、ト云フヤウナ例ハ少クナイノデアリマス、前年府縣ノ教育ヲ觀察シ統一ヲスルガ爲ニ、府縣ニ有カク文部ノ視察官ヲ置ク

ト云フコトガ實施セラレマシタガ、何時ノ間ニカ是ガ文部カラ取去ラレテ、內務ノ官吏トナリ、當初ノ精神ハ全ク失ハレテ居ル如キ是レ一例デアリマス、又教員ノ優待ト教育ノ改善ヲ期スルガ爲ニ、教員俸給ノ國庫負擔法ガ出來マシテ、四千萬圓ヲ國庫カラ支出スルコトニナリマシタガ、是モ多クハ文部ノ費用カラ轉ジテ內務費ニナツテ居リマス、即チ教員ノ優待ニ支給スルヨリカ、市町村費ノ緩和ニ用ヒラル、ニ至ツテ居ルデアリマセヌカ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、無理解ナル分省法トナシタガ爲ニ斯様ナル不統一、又矛盾ヲ來スノデアリマスカラ、文部ハ之ヲ內務ニ合シテ、ソレカラ又司法ハ一部ハ內務ニ合シ、一部ハ大審院ニ附ケテ事務ノ整理簡捷ト、人民ノ便利トヲ圖ルト同時ニ、文教ノ振興、一方ニ裁判ノ嚴正ヲ圖リタイト云フノデアリマス、茲ニ此分合問題ニ關聯シテ直ニ一ノ問題ノアルノハ、農務省設置ノ件デアリマス、私ノ考デハ大キナ力ヲ背景ニ廣イ場所ニ立ツテ仕事ヲヤル方ガ有力デアル、力ガ分ルレバ分ルレダケ弱ウナル、農務省設置希望ノ御方ハ、農政ノ振興ヲ期スルガ爲ニ之ヲ獨立シタイト云フノデアリマス、ケレドモ斯カル力ヲ分ツト云フコトハ、却テ力ヲ弱ウスルコトニナル、農業ニ理解アル人ヲ求メテ其長官トスレバ大ニ振興シ得ルト思ハレマセウガ、政府ノ仕事ハサウ誂ヘ通りニ行キマセヌ、既ニ文部省ノ如キ、今日迄ノ經驗デ明カデアリマセヌカ、全國農業者ノ利益、農業ノ振興ヲ圖ルガ爲ニハ、有力ナル廣イ地盤ニ立ツテ、強キ背景ニ據ル有力ナル人ヲ以テ仕事ヲセナケレバナラスト思フノデアリマス、力ハ集ムンバ強ク、分クレバ弱イ、殊更ニ農務ヲ分ツテ弱キ狹キ範圍ニ入レントスルコトハ、是レ果シテ有利ナルヤ否ヤ、諸君ノ希望ヲ裏切りハシナイカ、此點ハ私モ農民黨ノ熱心ナル一人トシテ、切ニ農業

ノ振興ニ御熱心ナル諸君ノ一考ヲ求ムルノデアリマス、ソレカラ海陸兩省ガ分立シテ居リマスガ爲ニ、諸種ノ不便國損ヲ致シタコトガ尠クナイノデアリ、想起ス旅順役ノ當時、海陸ガ不統一、不連絡ノ爲ニ何程ノ不利益ヲ來シマシタカ、是等ハ今日一々類例ヲ舉ゲル必要ハアリマス、殊ニ將來國防ノ最モ大切ナ地位ヲ占メルノハ航空事業デアリマス、サナキダニ發達ガ遅タル此事業ヲ、兩者ニ力ヲ分ケテスルガ如キハ、不利ノ甚シキミナラス、其統一ヲ缺クガ爲ニ、國防緊切ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ虞ガアルト思ヒマス、將來國防ヲ一層經濟的ニ、一層有力ニ致ス爲ニハ、此兩省ヲ合一スルコトガ極メテ必要ト考ヘマス、ソレカラ陸ニハ鐵道、海ニハ船舶、サウシテ全國ノ道路、此三ツノ大交通機關ハ互ニ連絡統一シテ其進歩發達ヲ圖ラネバナラス譯デアリマス、鐵道ハ鐵道省ニ管シ、船舶ハ通信省ニ屬シテ居リ、更ニ道路ハ內務省ニ屬シテ居ルガ如キ、誠ニ其能率ヲ缺キ、連絡ヲ缺キマスル上ニ損ヲ致シ、又不利益ヲ見、發達ヲ害スルコトガ尠クナイト思ヒマス、又通信省ノ第一ノ仕事ハ郵便デアアルケレドモ、其郵便ハ主トシテ鐵道ニ依ラナケレバナラス、鐵道ハ管轄ガ違フト云フ爲ニ、ドレダケノ手數ト、ドレダケノ不利益ヲ致シテ居ルコトデアリマセウ、是等ヲ一省ニ纏メテ、交通連絡ノ完全ヲ期シテ、其利用ヲ大ニシテ、サウシテ國務ノ進歩ヲ圖リタイト云フ爲ニ、之ヲ交通省トスル必要ガアルト思フノデアリマス、此鐵道ト道路、道路鐵道ト港灣、港灣ト船舶、是ハ最モ關係ノアルモノデアリマシテ、是等ヲ互ニ連絡研究スル必要ガアル、近クハ東京灣築港ノ如キデアル、東京灣ニ築港スレバ横濱ノ力ヲ殺グ許リデ無ク、本所、深川ヲヨリ以上ニ侵害シ犧牲ニシナケレバナラス、隨テ一般交通ニモ害ヲ及ボサナケレバナラス、又

今日荒川、江戸川ニ放水路ヲ設ケテ、非常ナ國費ヲ多ク入レテ、サウシテ本所、深川ヲ助ケヤウ其浸水ヲ防ガウトセラレマスガ、此大工事モ私カラ見レバ更ニ效ハナイ、何故カト云ヘバ其放水路ヲ外海ニ向ツテ開イタナラバ、其東京灣ニ漲ル水ガ減リマセウケレドモ、本所、深川ハ土地低クシテ東京灣ト差ガ極メテ少イカラデアル、如何ニ放水路ヲ造ツテモ、其水ガ同ジク東京灣ニ來ル以上ハ本所、深川ハ浸水ノ脅威ヨリ免レルコトハ出來ナイノデアアル、巨額ノ費用ヲ掛ケテ、マルデ無効ノ仕事ヲスルハ、此大事ナ仕事ガ統一セラレテ居ラヌカラデアアル、殊ニ東京灣ノ築港ガ出來レバ益、其水ハ渾マリテ本所、深川ハ一層其浸水ノ脅威ヲ受ケナケレバナラスト云フコトガ明白デアルト云フコトハ、不思議千萬ト謂ハナケレバナラヌ(拍手)尙ホ私ハ全國ノ港灣ニ互ニ關係等モ調ベテ居リマスケレドモ、ソレ等ハ此場合總テ割愛ヲ致シマス、第三ハ裁判ノ獨立完全ヲ期スルコト、裁判ノ獨立ハ憲法ノ保障スル所デアリマスガ、其裁判官ノ任免黜陟ヲ行政國務官ニ於テ取扱フニ於テハ、間接ニ其獨立ヲ侵サル、コトヲ免レナイノハ人情デアリマス、裁判官ノ進退ヲ大審院長ノ權限ニ屬セシメ、サウシテ其獨立ノ完全ヲ期スルト云フコトハ、外國ニモ例ノアルコトデアツテ、是ハ我が政治社會ニモ議論ノ既ニ現レテ居ルコトデアリマスカラ、速ニ是ガ實行セラシ、ヤウニト云フコトヲ希望シテ、此說明ハ省キマス、第四、會計検査院ノ權限ヲ擴張スルコト、近年國民外交ノ言葉ガ盛行ハレマシテ、固ク鎖サレタ霧ケ關ノ關門モ、漸次國民ノ前ニ展開セラレツ、アルノハ時代の進歩デアリマスガ、私ハ外交ト共ニ等シク重要ナ財政モ、同ジク國民ノ前ニ開放セラシ、ニ至ツテ、國民外交以上ニ國民財政ガ行ハル、ヤウニ至

ランコトヲ切望致スノデアリマス、國費ハ國民ガ負擔致スノデアリマスカラ、財政ノコトハ外交以上ニ國民ニ直接シテ居ルモノデアリマス、隨テ國民ハ財政ノ實情ヲ知り、以テ國民的財政監督ノ實ヲ舉グルニ至ルコトヲ理想ト致シテ、會計検査院ノ權限ヲ擴張シテ、其財政監督ノ實ヲ以テ改善ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、國ノ最モ大ナル仕事デ、最モ關係スル所ガ多イノハ、申ス迄モナク財政デアリマス、隨テ財政ノ監督査定ヲ嚴密ニ致シテ、不當ノ支出ヲ禁ジ放漫ナル經濟ニ陥ラシメナイヤウニスルノハ、極メテ必要ノ事デアリマス、是レ議會ガ事前ニ於テ豫算ノ審議ヲ致シ、事後ニ決算ノ審査ヲ爲ス所以デアリマス、然ルニ今日ノ現狀ハ、豫算ノ査定モ殆ド實際ハ有名無實デアリマス、殊ニ決算ノ如キハ多ク重キヲ置カナイ感ガアルノハ、實ニ遺憾ノ事デアリマス、我が財政ノ放漫ニ陥ルノ罪ハ、議會ガ確ニ其半ヲ負ハナケレバナラスコト、私ハ思ヒマス、今是ガ改善ヲ圖ル細目ハ茲ニ省キマシテ、大綱ノミヲ申シマス、第一豫算ハ勿論政府ガ作り、決算ハ會計検査院ガ主トシテ其編成ニ任ズルコト、是私ガ検査院ヲ改造シ財政監督ノ實ヲ舉ゲントスル中ノ大ナル主眼ト致ス所デアリマス、ソレカラ第二ガ會計検査院ノ検査ハ、從來主トシテ形式上合法ナルヤ否ヤト云フコトヲ調べ、實質的ノ検査ヲ致シテ、豫算ノ目的ニ適合スルヤ否ヤ、經濟的ニ使用セラレ居ルヤ否ヤヲ進ンデ調査スルト云フヤウナ方法ヲ求メンケレバナラスト思フ、隨テ些細ナル形式上ノ誤リ、僅カナ規則上ノ間違ナドハ、是ハ成ベク寛容致シテ、主トシテ實際的ニ力ヲ用ユルヤウニ致シタイ、是ガ第二、ソレカラ第三ハ之ヲ國民ノ前ニ解放スル必要ガアリマスカラ、豫算決算ハ、少クトモ各府縣ニ一冊

僅ハ廻付シテ置イテ、何人デモ希望者ハ自由ニ見
ラル、ヤウニ致シ、又豫メ希望ヲ申出ル者ガアレ
バ、官報ト同ジヤウニ誰ニモ煩ツ方法ヲ設ケラレ
タイ、ソレカラ第四ニ、此會計検査院ノ検査報告
書ハ、之ヲ必ズ官報ニ發表シテ廣ク國民ニ頒ツ、
サウスレバ國民ハ自分ガ關係シタ事ヤ、或ハ見聞
シタ事ニ付テ、ソレガ如何ニ取扱ハレテ居ルカト
云フコトヲ知ルコトガ出來マシテ、國民財政ノ實
態グルニ近イト考ヘルノデアリマス、私ハ前々
議會ニ於テ大正八年ノ決算ヲ審査致シマシタ、不
當、違法、殆ド三百件ノ多キニ及ビ、金額ニ於テ
モ何千萬圓ニ及ブノヲ見テ、洵ニ一驚ヲ喫シタノ
デアリマス、當時少數意見ヲ報告ヲ致シテ、之ヲ
議會ニ説明ヲ致シマシタガ、其中ニハ違法ノ濫費
モアリマスガ、合法ノ濫費モアル、又脱税ニシテ
モ、合法ノ脱税モアル、違法ノ脱税ノ外ニ、合法
ノ脱税ノ段々アル、斯ノ如キ有様デハ會計監督ノ
實ハ舉ラスト思ヒマス、隨テ不公平ナル徵稅ガ
行ハレ、又國費ノ濫費ニ陥ル、是等ノコトニ付
マシテハ、會計検査ノ活用ニ俟タンケレバナラヌ
事ガ多イノデアリ一スカラ、唯、形式ニ偏シテ、活
法文ニ拘泥スルヤウナ價値ナキ徒勞ヲ避ケテ、活
キタ國政ヲ爲ス人ノ壯デスル勵キヲ認メテ、一
方ニ自由ノ範圍ヲ與フルト共ニ、最モ賢明ニ、最
モ經濟的ニ、此豫算ガ行ハレルヤウニ、國務ノ進
捗ヲ圖ルコトガ大切ト思フノデアリマス、ソレカ
ラ第五、地方財政ノ検査、監督ヲ爲ス途ヲ開キタ
イ、東京府ノ如キ常ニ疑獄ガ絶エナイト云フノ
ハ、此會計検査ノ法ガ無イカラデアリマス、市民
ハ困難ノ中ニ多額ノ負擔ヲ爲シテ、サウシテソレ
ハ悉ク疑惑ノ裡ニ葬リ去ラレテ居ル狀態デアルノ
デアリマス、ソレドコロデハアリマセヌ、近クハ
此度ノ變災ニ於ケル救護品ノ分配等ニ付テスラ、
人ノ不幸ニ乘ジテ此同情ノ惠ミヲサヘ不正ノコト

ヲ爲スヤウナ事ガアリマシタノハ、會計検査法ガ
及バナイ爲ニ因ル事ガ多イト思フノデアリマス、
ソレカラ又其外赤字、愛國婦人會、其他ノ公共
團體、社會團體ニモ此會計検査ヲ爲ス權能ヲ附與
シタイ、是ガ會計検査院ノ擴張改造ノ要旨デアリ
マス、第五ガ、地方制度改善ノ事デアリマス、交
通機關ノ發達致シマシタ今日ニ、府縣ノ制度ハ
極メテ不便デアツタ、其從來同様ノ儘ニ置クノ
ハ、洵ニ謂レノナイ事デアリマシテ、一方ニハ
新文化ノ施設ヲ要スル事ガ多キニ伴ヒ、一方ニ
ハ之ニ對シテ事ヲ簡約ニシテ、改善スルト云フ
コトヲ圖ランケレバナラヌノデアリマス、然ル
ニ凡ソ人ハ、現狀ノ内ニ居ル者ハ現在ニ從ハレ勝
デアリマスカラ、須ラク著眼ヲ大ニシテ、大ニ
改造ヲ企テタイト思ヒマス、又今日ノ町村ハ山
河自然ノ形勢ヨリモ、多クハ因襲ノ馴致ヨリ來
ルモノガ多イヤウデアリマスカラ、此際土地ノ
形勢カラ全國ニ及ンデ是ガ分合ヲ行ヒ、是ガ整理
ヲ爲スコトハ極メテ必要ト考ヘマス、今日此議會
ニ請願ノ最も多ク現レルノハ、鐵道ノ敷設、郵便
局ノ設置、登記所ノ設置、是等デアリマス、是等
ハ有ルト無イトハ人民ノ便不便ハ非常ナ遠ヒデア
リマシテ、地方ニ依ルト郵便局ニ往復スルニ一日
ヲ要シ、電信ヲ打ツニハ尙ホヨリ以上ノ時間ヲ要
スルト云フヤウナ有様デアリマスカラ、人民ガ之
ヲ請願シ來ルノハ寧ロ當然デアリマス、ソコデ町
村ヲ分合シテ其範圍ヲ大キク致シテ、各町村内ニ
郵便ノ事、並ニ登記ノ事務ヲ分置致シテ、人民ノ
便利ヲ圖ルハ時勢ニ伴フ必要ナ改造ト考ヘマス、
尙ホ此項ニ於テ説クベキ事ハ、自治權限ノ事、府
縣財政ノ事、ソレカラ知事公選論、參事會制度、
市郡ノ連帶、並ニ關係ノ事、並ニ市長ノ警察權、
是ハ一寸言葉ガ珍ラシイデセウガ、私ハソレニ意
見ガアルノデアリマス、是等ノ問題ガ澤山アリマ

スケレドモ、是モ此場合總テチ省キマス、第六ガ
學制ヲ根本的ニ改造致ス事、凡ソ先ヅ世人ノ頭カ
ラ學校ガ教育ノ全部デアルト云フ觀念ヲ取去ツ
テ、少時ヨリ實世間ニ接觸シテ、活キタ實學ニ精
神ヲ涵養スル組織ヲ採ツテ、小國民ノ普通教育カ
ラ、今日ノ所謂、徵兵ヲ終ル迄之ヲ普通教育教
養ノ期間ト致シマシテ、其間ニ實業ニ從事シタリ
或ハ職工徒弟トナル者等ノ者モ、皆之ヲ指導教養
ノ範圍ニ入レテ、凡ソ人ハ必ズ相當ノ業務職業ニ
從事スベキモノデアアル、遊食、徒食ノ卑シムベキ、
大生ノ罪惡デアルト云フ觀念ヲ養成致シマシテ、
實業的實際的ニ子弟ヲ仕立テ、又徵兵制度ヲ根本
的ニ改メテ、之ヲ青年教育ノ普通課程ニ入レテ、
サウシテ其間ニ人トシテ立ツ精神ヨリ、進ンデ社
會連帶ノ責任感ヲ自覺セシメ、以テ國民精神ノ根
柢ヲ、各自能力上ノ實業ニ結合セシムル方法ヲ執
ルコトガ最も必要ト考ヘマス、今日ノ小學ハ中學
ノ階梯デハナイ、中學ハ大學ノ階梯デハナイ、然
ルニ其學科ト實際トハ、皆階梯豫備ノ如クナツテ
居リマスノハ、是レ全ク改造ヲ要スル一ツノ理由
デアリマス、凡ソ教育ハ知ル人ヲ造ルニアラズシ
テ、行フ人ヲ造ルノデアアル、然ルニ今日ノ有様ハ、
學校ガ教育ノ全部デアルト云フヤウナ觀ガア
ツテ、隨テ知ル人ハ出來マスケレドモ、行フ
人ガ乏シイノデアアル、此度ノ大災ニシテモ、實
ニ全ク此大缺陷ヲ明々地ニ暴露致シテ居ルノデ
ハアリマセヌカ、例ヘバ金屬「カリウム」ヤ
「ナトリウム」或ハ燐ノ如キモノハ、空氣ニ觸
レ、バ火ヲ發スルト云フコトハ、理科ノ初步ヲ學
ンダ者ガ皆知ツテ居ル、唯、ソレヲ知ツテ居ルノ
ミデアリマスカラ、ソレガ空氣ニ觸レ、バ火ヲ發
スルト云フコトヲ知レバ、ソレニ對シテ相當ノ用
意ガナクテハナラヌノニ、唯、知ツテ居ルノミデ
アリマスカラ、鑊ガ倒レテ破レ、バ火ヲ發シソレ

ガ大事トナル、是レ明カナコトデハナイカ、然ルニ此僅カナ用意ガ準備サレズシテ、所々ニ大火ヲ生ジタ、帝國大學醫科大學ノ火事ハドウデアアルカ、學習院ノ火事ハドウデアアルカ、又早稻田大學ノ理化學實驗室カラ起ツタ火事ハドウデアアルカ、此度ノ大火ノ發シタ百餘所ノ火事ノ中デ、四十何箇所ト云フモノハ皆此藥品カラ起キタノデアリマス、其藥品ハ空氣ニ觸レ、バ火ヲ發スルト云フコトハ、理學ノ初步ヲ學ンダ者スラ知ツテ居ル、ソレヲ知ツテ居ルノミデ行フ觀念ガナイ、實ニ教育ガ實際ニ觸レズ根本的ニ價值ノ無イモノニナツテ居ルカラ、斯ノ如キ大慘害ヲ來シタノデアリマス、其他花崗石ハ火ニ弱イト云フコトハ、是モ鑛物學ヲ習ツタ者ハ知ツテ居ル、又眞鍮ナドノ火ニ弱イト云フコトモ知ツテ居ル、然ルニ殊更ニ花崗石ヲ積重ネタ上ニ金庫ヲ置ク、其金庫ハ眞鍮ノ金具ヲ以テ造ツテアル、マルデ學問ハ只表面ノ飾リデ、實用ニハ關係ナイ、爲ニ金庫ハ倒レ、中ノ物ハ燒ケル、何ノ爲ノ學問ゾ、今日ノ有様カラ見レバ、學問ヲ爲ス其值幾何ゾト言ハシケレバナラスデハナイカ、斯ノ如キハ學問ノ根柢ニ既ニ大ナル誤解ヲ持ツテ居ルカラデアアルカ、是等ノ上ニ十分ノ改造ヲ致シタイト申ス一例デアリマス、ソレカラ學科ノ整理減少ハ、世人ノ既ニ唱道シツ、アル所デアリマスカラ之ヲ省キマスガ、外國語ヲ廢シテ之ヲ隨意科トスル一點ハ、世間ニハ議論ガアラウト思ヒマス、今日世間多クノ學生ガ最モ頭ヲ苦メルノハ外國語デアリマス、而モ之ヲ卒業シテモ更ニ專門ノ學ニ入ラナイ以上ハ、其學ハ殆ド實用ヲ爲サナイノデアリマス、遂ニ積年ノ苦心モ全く水泡ニ歸シテ、忘レテ終ルノガ多イノデアリマス、他ノ多クノ有用ノ科目ヲ犧牲ト致シテ、實際ニ役立つナイ、外國語ニ彼等ヲ苦メルト云フコトハ、是ハ賢明ナル方法デハナイト思ヒマス、今日必

要ナル漢字スラ之ヲ減少整理シテ、學生ノ負擔ヲ減ジヤウト苦心シツ、アルニ當ツテ、此無益ナル勞力ヲ強ユルハ實ニ解スベカラザルコトデアリマス、況ヤ外國語ヲ正科トスルガ如キハ、國ノ面目カラ中シマシテモ不見識ノ至デアリマス、外國語ヲ必要トスル者ニハ隨意ニ之ヲ課シタラ宜イノデアリマス、正科トシテ之ヲ強制スベキデハナイト思ヒマス、彼ノ辯護士試驗ヤ、其他ノ國家試驗デモ、之ニ外國語ヲ課シテ、サウシテ彼等ヲ苦メルト云フコトハ是ハ避ケタイト私ハ思ヒマス、今日ノ實際ハ小學校デ終ル者ハ、小學校デ學ンダコトヲ忘レテシマヒ、中學校デ終ル者ハ、中學校ノ教育ヲ忘レテシマフ、是程非能率、徒勞ノコトハ無イト思ヒマス、教育ハ須ラク終生利用シ、活用シ得ラレル學制教程ノ方法ヲ立テナケレバナラヌト思ヒマス、勿論外國語ヲ獎勵スルモノハ必要デアリマス、外國語ニ秀デタ人ヲ造ルコトハ勿論希望スルコトデアリマス、唯、學科ノ之ヲ正科ニ入レテ強制スルコトハ速ニ廢止シタイ、假令其學校生徒ノ全部ガ國語ヲ學ンデモ、ソレハ一向差支アリマセヌ、全部希望スルモノ之ヲ希望學科トスルニ、何等妨デハナイコトデアリマス、茲ニ一言シテ置キタイハ漢字制限デアリマス、今日使用ノ漢字ガ將來長ク其通り使用サレルモノナラ、此點ニ於テ之ニ力ヲ入レルノハ宜シイケレドモ、社會ガ活キテ變遷スル以上ハ、諸般ノモノ、其名稱、其言語ナリ之ニ伴ウテ文字ノ如キモ當然變リ行クノデアリマス、將來ガ變リ行クコトハ既往ノ變ツテ居ルノヲ見テモ知り得ラレル、今迄十年前ニ用ヒタモノデ、今日用ヒラレヌモノガアリ、又十年前ニハ用ヒナイモノガ、今日ハ出テ來タノデアリマス、今日ノ現狀ヲ將來永ク釘付ノヤウニ思ツテ、之ニ力ヲ入レテ、漢字制限ノ爲ニ腦力ヲ費シ、心配スル如キハ徒勞デアアルト私ハ思ヒマス、殊ニソレガ爲ニ文化ノ幾

分ヲ減殺シテ、犧牲ニスルコトデアアルカラ、斯様ナ無用、無効ノ學生負擔ノ減少法ヲ考ヘルヨリモ、現實ニ、永久的ニ、效用大ナル外國語強制ノ負擔ヲ減ズルノ英斷ニ出デラレンコトヲ切望スノデアリマス、第七ガ、外國文化ノ簡易普及ヲ圖ルコト、外國語ヲ讀ミ得ナケレバ、新知識ヲ得ルコト能ハザルハ今日ノ現狀デアリマスガ、其外國語ヲ讀ムニ費ス勞力ハ極メテ多大ヲ要シマス、而モ其效果ハ極メテ乏イノデアリマス、仍テ茲ニ獨立ノ帝國大醫院ヲ造ツテ、各國語ニ堪能ナル博士、大家ヲ入レテ、有ユル世界ノ新著大著ヲ翻譯致シテ、之ヲ高等小學ヲ卒業シタ者ナラバ大抵讀得ル位ニ、讀易キ國語ニ翻譯致シマシテ、サウシテ知識ヲ渴望スル世人ニ、容易ニ便利ニ之ヲ讀ミ、且ツ之ニ接シ得ルノ途ヲ開クコトハ、極メテ必要ナ事デアリマシテ、前段ニ述べタル外國語ヲ正科カラ除外スルト云フ事ト相俟ツテ、大ニ青年ノ腦力ノ負擔ヲ減ジテ、各自天賦ノ個性ヲ自由ニ、十分ニ發揮セシメ、各、其所ヲ得セシメル方法ヲ講ズルコトハ、國運發展ニ應ズル實ニ緊切ナル事ト認メマス、又民間學者ニ向ツテ、此種翻譯書ノ獎勵モ、亦斯ウ云フコトニ從事スル學者ヲ養成スルト云ブコトモ、之ニ伴ツテ當然ノ必要デアリマス、ソレカラ第八ガ議院制度ノ改正、帝國議會ノ決議ハ全國各府縣ノ豫算、其他一般ノ施設、計畫、各種ノ民業、其他同業組合ノ事業等ニ大關係アルコトハ勿論デアリマス、中ニハ中央ノ補助ヲ受ケ得ルヤ否ヤ、受ケ得ルトセバ其金額ハ幾何ナルヤ等ハ、直ニ地方豫算ノ基礎ニ大關係ヲ爲スモノデアアルニ、帝國議會ハ何時デモ地方議會ヨリ遅レマスカラ、ソレガ爲ニ地方ノ事務ニ障礙ヲ來シ、迷惑ヲ及ボスコトハ少クナイノデアリマスカラ、此議會會期ノ方ニ於テ、豫算ハ少クトモ衆議院ダケナリトモ年内ニ決議スル位ニ、之ヲ運ブヤウナ途ヲ

開キタイト思ヒマス、ツレカラ總テノ官廳ヤ學校ハ、一月ノ上旬ニハ皆開始シマスノニ、政府ノ豫算編成ニ非間ガ取レル關係上、已ムヲ得ヌトハ云ヘ、議會ノミガ一月二十日マデ休ムノハ世間ノ聞エカラ申シテモ宜シクナイト思ヒマス、一月八日位ニハ開クヤウニ致シ、サウシテ私ハ三箇月ノ會期ノ中ニハ、十二月末カラ一月初迄ノ休暇ハ之ヲ計算ニ入レヌト云フ慣例ヲ作ルヤウニ致シタイト思ヒマス、其他議事ノ進行法、豫算ノ査定法、其他ニ付キ、之ニ伴ウテ種々ノ改造ヲ要スルモノト思ヒマスガ、是ハ諸君ニ譲リマシテ、此處ニハ省キマス、第九、行政裁判所ノ擴張ヲ致スコト、官吏ガ不法行為ヲ致シタル爲ニ受ケタ其損害ヤ、或ハ警察官ノ違法處分ニ因ル事等、之ヲ救済スル途ヲ缺イテ居ルト云フコトハ、官紀ヲ維持スル能ハザル大ナル缺點ト思ヒマス、デアリマスカラ行政裁判ノ列記法ヲ改メテ、概括法ニ致シテ、サウシテ行政裁判ノ範圍ヲ擴張セルト云フコトガ第一ニ必要ト思ヒマス、ソレカラ訴願デアリマスガ、訴願ハ地方上級廳ヘ訴願致シマス、上級廳ハ我が下級廳ノシタコトヲ可否ヲスルノデアリマスカラ、多クハ人民ノ意見ガ通ラナイノデアアル、是ハ普通當リ前ト申シテモ宜イ、此制度ヲ改メタイト思ヒマス、官吏ノ冤枉不法ヲ救済スル途ガ完全ニアリマセヌ爲ニ、人民ノ思想ヲ善導スルコトガ出來ナイノハ、是ハ當然ノ歸結デアリマス、今日ハ實ニ吏道ガ廢レテ居ル、封建專制ノ世ニハ、汎ク一般ニ下民ニ聽クコトヲ獎勵致シテ、忠告ヲ容レ諫言ヲ受ケルコトヲ、吏人ノ第一ノ心得トシテ居リマシタカラ、立憲ノ今日ヨリモ、却テ專制ノ時ニ、民意ガ暢達シタ例ガアリマス、今日ノ官吏ハ總テ部下ノ諛言ヲ聽イテ、サウシテ更ニ言路ヲ開キマセヌガ爲ニ、益、自然ニ壓迫ヲ民意ニ及ボスコトハ、洵ニ遺憾ト致ス所デアリマス、一方ニハ

吏道ヲ興シ、一方ニハ官紀ヲ振肅スル、ソレニハ今日ハ唯、其人任意ノ勵キニ頼リ行キマセヌ、其法ヲ設ケルガ宜イ、其法ヲ設ケルノガ、即チ行政裁判所ノ改正ニアルト思ヒマス、普通裁判ハ今日餘程進歩致シテ居リマス上ニ、尙ホ陪審法マデモ行フト云フコトニナツテ居ルノニ、行政裁判所ハ洵ニ遲々トシテ振ハヌデアリマス、普通裁判モ同權同位ノ人ノ間ノコトデアリマスガ、行政裁判ハ權力關係ニ在ルノデアリマスカラ、ソレニハ普通裁判ヨリ尙ホヨリ以上ニ力ヲ注ガナケレバナラヌコト、思ヒマス、第十、殖民地政務ノ統一、私ハ此總督政治ヲ廢シテ、内地ノ地方制度ニ準ジテ之ヲ取捨斟酌シテ、府縣制度ノヤウニ致シテ、之ヲ中央政府ニ直接スルコトガ、殖民地人民ノ意思ヲ疏通スルニ必要ト思ヒマス、今ハ總督府ナル中間政廳ガアリマスカラ、隨テ其間ニ誤解モ生ジ不平等モ起ケルノデアリマス、是等ハ之ヲ論ジマスレバ、是ダケデモ中々時間ヲ要スルカラ、是ハ總テ省キマス、以上論ズル所、第一ノ租稅ヲ廢シテ國費ヲ分賦法ニシヤウト云フノハ、國民ノ富ノ負擔ヲ第一ニ減ジヤウ、ソレカラ第六、第七ニ申シタル外國語ニ關スルコトハ學生學者ノ能力ノ負擔ヲ減ズルコトヲ主トシヤウ、其他ニハ兩方ニ互ルモノガアリマス、又第三ニ大審院ノ制ヲ改メ、第九ニ行政裁判所ノ組織ヲ擴張スルコトハ、今日廢シタル綱紀ヲ維持シ、素シタル官紀ヲ振肅スルニ大關係ガアルノデアリマス、腐敗ノ中ニ在ル蟲ハ、腐敗ノ臭ヲ知ラナイ、其臭ヲ感ゼザルモノニ腐敗ヲ矯メサセルト云フノハ、聊カ注文ガ無理トモ申サレル、唯、自己ノ榮達ノミヲ目的トスル人、ニ迂遠ナ正道ニ後レト云フノハ無効デアリマス、今日ハ法治國デアリマス、法ニ依ツテ之ヲ定ムルノ外ハナイ、一方ニ裁判獨立ノ完全ヲ圖リ、一方ニハ行

政官ノ不法ヲ戒ムル途ヲ開クノ他ハ無イト信ジマス、世ノ財政論者モ、國防當務者モ、教育學者モ、皆是等根本的ノ要點ニ心ヲ注ギ、共ニ之ガ研究ニ意ヲ用ヒラレシコトヲ切ニ望ムノデアリマス、終リニ臨ンデ一言ヲ添ヘテ申シマス、今日ノ政治組織ハ、唯、獨リ少數ノ人ノ階級ノ進歩ノ便利ノ爲ニ造ラレテ、決シテ人民ノ爲メノ政治デハナイト云フ感ガアルノデアリマス、先ゾ一青年ガ大學ヲ卒業シテ國家試験ヲ受ケマス、ソレカラ屬官ニナル、ソレガ吏務ノ大要スラマダ會得シナイ中ニ、忽然トシテ無關係ノ郡長トナリ、尙ホ一二年、三年經ツト、學務課長ニ轉ジ、又全ク飛離シテ警察部長トナリ、內務部長トナリ、知事トナル、郡治ノ事務ノ爲ニ郡長ヲ置クニアラズ、郡務ハ多年從事シテ居ル郡書記ノ仕事テ、郡長ハ唯、榮達スル階段デアアル、學務課長ハ一縣ノ學事ヲ知ルニ非ズシテ、唯、其人ノ進ムベキ階段タルニ止マル、斯レ如クシテ如何ゾ其務ノ進捗ヲ圖リ得マセウカ、又一方ニ官吏勤績法ノ如キモ當ヲ得ヌ、其勤績法ナルモノハ、其事務ノ習熟上達スルコトヲ獎勵スルニアルトニ、警部ガ郡長トナリ、學務課長ガ警察部長ニナツテ、之ヲ勤績ニ算入スルトハ、何等其間ニ習熟上達ノ關係ハ無イノデアリマス、デアリマスカラ私ハ、郡長ヲ勤メテモ其治績ノ舉ツタ者ハ、學務課長ヤ警察部長ニナラナイデモ、直ニ內務部長ニナリ、知事ニナラ、ヤウニ、吏務ノ關係連絡ノ上ニ其獎勵ノ途ヲ開クヤウニセネバナラヌト思ヒマス、サウシテ其治績ヲ舉ゲルヤウニスルコトガ、根本的ノ改正ニ最モ重大ナ要部ヲ占ムルモノト思フノデアリマス、諸君、近年國民ノ氣風ガ著シク頹廢致シテ、多クハ浮華淫蕩ニ流レ、或ハ放縱詭激ニ陥リ、社會ハ墮落致シ、人心ハ浮カレ浮カレテ、殆ド噴火山ノ上ニ舞踏スルガ如キ今日ノ有様ハ、恰モ羅馬ノ末路ノ歴史ヲ讀ム

ガ如キ有様デアツテ、茲ニ此度ノ此大災厄ハ再ビ生キヨト云フ天ノ警告トモ見ラル、ノデアリマスカラ、此際ニ吾々ハ難ランケレバナラヌ、決シテ從來ノ頭、從來ノ考ヲ以テ、此機會ニ於キマシテ、今迄ノ習慣モ、今迄ノ思想モ取去ツテ、眞剣味ニ此國運ノ爲ニ根本的ノ改造ヲ致シテ、而シテ國民前途ノ幸福、民族ノ繁榮ヲ圖ルベキハ、吾々國民ノ大ナル責任ト信ズルノデアリマス、希クハ滿場諸君ノ御賛同ヲ祈リマス(拍手)

○高見之通君 本案ハ森格君外三名提出、相模西部ノ復興ニ關スル建議案外 件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(柏谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第八ハ只今提出者ガ席ニ御見エニナリマセスカラ延期致シマス、後廻シニ致シマス、日程第九、震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、星島二郎君

第九 震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案

議(星島二郎君提出)

震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案
震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案
政府ハ今回ノ大震災ニ鑑ミ相當ノ規模ヲ有スル震災豫防調査機關ヲ設置スヘシ
右建議ス

○星島二郎君 簡單デスカラ、此席カラ申シマス、今回ノ大震災ニ願ミマシテ、今少シ之ヲ前ニ知ル方法ガナイデアラウカ、假令震災ガアリマシテモ、之ニ對抗スル建築法、其他今少シ準備ラシタラト云フコトヲ、御互ニ深ク感ズル次第デアリマス、ソレニ付キマシテハ、現在豫防調査會ト云フモノガ、少部省內ニ置イテアルノデアリマス、ケ

レドモ、僅々三万圓ノ經費デテアルノデアリマス、私共ハ國防ニ對シマシテ、何億ト云フ金ヲ使ツテ居リマスガ、百億ノ富ヲ失ヒ、數万ノ人命ヲ喪ツタ、此損害ニ對シテ今少シシテ金ヲ拂ツテモ、決シテ惜クナイト思フノデアリマス、震災ヲ前以テ豫知スルコトモ全然不可能デハナイ、ト云フコトハ昨日此議院ニ御見エニナツタ中村博士モ言ツテ居ラレルノデアリマス、假令震災ガアリマシテモ、相當ノ豫防ヲ致シマスレバ、防止ヲ致シマスレバ、アレ程大ナル火災ハ受ケナカッタデアラウデアリマスカラ天然ノ國防費ト致シマシテ、私共ハ三百萬乃至五百萬位ノ金ハ決シテ惜クナイト、斯ウ思フノデアリマス、生前大森博士ニ私共知己ヲ得マシテ、其學者ラシキ態度ニ感服致シマシタ一人デアリマスガ、博士ノ遺族ヨリ、ドウシテモ此調査機關ヲモツト改善シテ欲シト常々博士ガ言ツテ居ツタ、是非斯ウ云フ議案ヲ建議シテ、通常議會ニハ政府ハ相當ノ豫算ヲ組入レテ欲シト云フ願デアル、私ハ洵ニ同感ニ思ワタノデアリマシテ、政友會、憲政會、庚申俱樂部ノ皆方ノ御賛成ヲ得マシテ、本案ヲ出シマシタ次第デアリマス、冀クハ來ル通常議會ニ、政府ハ必ズ相當ノ豫算ヲ震災豫防調査機關ノ爲ニ組入レラレンコトヲ茲ニ建議致シマス、皆様ノ御賛成ヲ仰ギタイト思フノデアリマス(拍手)

○高見之通君 本案ハ森格君外三名提出ノ、相模西部ノ復興ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(柏谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十、燒失遊廓再興不許可ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者松山常次郎君

第十 燒失遊廓再興不許可ニ關スル建議案

案(松山常次郎君外一名提出)

燒失遊廓再興不許可ニ關スル建議案
燒失遊廓再興不許可ニ關スル建議案
帝都復興ニ際シ燒失セル遊廓ノ再興ヲ許可セサルコトハ市民精神復興助長ノ一端トシテ極メテ重要ナル問題ナリト信ス依テ政府ハ宜シク此等燒失遊廓ノ再興ヲ許可スヘカラス
右建議ス

〔松山常次郎君登壇〕

○松山常次郎君 諸君、本建議案ノ目的ハ、此度ノ大震災災後ニ於ケル精神復興ノ記念トシテ、我國ニ現存スル公娼制度ノ撤廢ヲ斷行致シタイト思フノデアリマス、而シテ其前提ト致シマシテ、此度燒失セル吉原、洲崎等ノ遊廓ヲ再興セシメナイヤウニ致シタイト云フノデアリマス、我國ニ於ケル廢娼運動ニ付キマシテハ、先年群馬縣會ニ於テ此問題ガ起リマシテ、前後十二箇年ノ奮闘ノ結果、遂ニ同縣會ヲ通過シ、群馬縣下ニ公娼制度ノ撤廢ヲ斷行セラレンデアルマス、ソレガ今日ニ續續致シマシテ、良イ成績ヲ示シテ居リマス、群馬縣ハ今日我國ニ於ケル唯一ノ廢娼縣デアリマス、最近ノ運動ト致シマシテハ、基督教婦人矯風會ガ今カラ七年前ニ此問題ヲ提起致シマシテ、今日マデ其運動ヲ繼續致シテ居ルノデアリマス、此度ノ災害後ニ精神復興ノ輿論ガ勃興スルヤ、婦人矯風會ハ非常ナル運動ヲ開始致シマシタ、殊ニ最近ノ如キハ各地方ヨリ代表者ガ上京致シマシテ、諸所ニ演說會ヲ開キ、或ハ名士ヲ訪問致シテ、其主義ノ宣傳徹底ニ盡力致シテ居リマス、其建議案ハ是等ノ人ノ熱誠ノ結晶デアリマシテ、衆議院ニ於ケル各派合同ノ問題トナリマシテ、實ニ八九名ノ多數ノ賛成者ノ署名ヲ以テ議場ニ現レタモノデアリマス、公娼ノ解放ハ一種ノ奴隸解放運動デアリマス、

奴隷解放ノ問題ハ既ニ西洋諸國ニ於テハ解決セラレタル問題ナルヲ以テ、社會ノ隅ニ於テ殘ツテ居ル個々ノ問題ヲ捉ヘテ、今日ハ之ニ追攀戦ヲ加ヘテ居ルト云フ状態ニアルノデアリマス、是ハ唯、西洋ニ於ケル問題タルノミナラズ、古來此思想ハ東洋ニモアルデアリマス、釋迦牟尼ハ奴隷解放ヲ實行シ、人身ノ賣買ヲ禁ジ、賈徑ヲ禁ズル教ヲ立テ、居リマス、即チ奴隷解放ノ思想ハ洋ノ東西ヲ問ハズ、古來人道ノ問題トシテ存スルノデアリマシテ、此廢娼ノ運動ハ人ノ良心ニ懇ヘテ、ドウシテモ決行シナケレバナラヌ問題デアルト考ヘルデアリマス、是ヨリ愈々本論ニ入ルノデアリマスルガ、此問題ヲ論議スルニ當ツテ、私共ハ第一ニ其立場ヲ決定シナケレバナラヌト思フノデアリマス、之ニ就キマシテハ、私共ハ第一婦人ノ聲ヲ聞カナケレバナラヌト思フノデアリマス、風教ニ關係スル人ハ、警察關係ノ人ハ、風紀ノ取締上カラ之ヲ論ズルデアリマセウシ、衛生ニ關係スル人ハ社會衛生ノ立場カラ之ヲ論ズルデアリマセウ、又遊廓ノ主人ニハ遊廓ノ主人ノ議論モ出テ來ヤウト思フ、之ヲ性的ニ考ヘマスルナラバ男子ニハ男子ノ意見モアラウト思フ、併ナガラ此問題ニ對シテ最も痛切ナル利害關係ヲ持ツテ居ル、之ニ於ケル犠牲者ノ位置ニ在ル所ノ女子ノ意見ハ、最も尊重シテ聞カナケレバナラヌモノデアルト思フノデアリマス(ヒヤ)此問題ニ對スル決定的論據ヲ與ヘルモノハ此婦人ノ聲デアルト私ハ信ズルノデアリマス、吉原ガ燒ケル度ニ娼妓ハ燒死ヲシマス、此度ノ大震災ニ於キマシテモ何百人ト云フ娼妓ガ燒死シタ、今カラ十三四年前ノ大火事ノ時ニモ多勢ノ娼妓ガ燒死ニマシタ、彼等ハ其平素ノ生活ニ於テ實ニ其自由ヲ奪ハレテ居ルノデアリマシテ、其身ニ危險ガ及ンデ來テモ、之ヲ逃ゲル所ノ自由ヲ與ヘラレテ居ラナイノデアリマス、

貸座敷ノ主人ニ言ハシムレバ、若シ之ヲ自由ニ解放スレバ逃ゲテシマフ、其稼業ガ成立タナイト云フデアリマセウ、今日ノ制度ノ存スル限り、私ハ此悲惨ナル事ハ永久ニ絶滅セシメルコトハ、出來ナイト思フノデアリマス、制度其モノニ大ナル缺陷ガアルコトヲ見ルノデアリマス、昔徳川時代ニ於キマシテハ藝者ニ對シテハ六年、娼妓ニ對シテハ四年、年期ガ決マツテ居リマシテ、假令此中ニ這入ツテモ此年期ガ濟メバ必ず自由ノ身トナツタノデアリマス、併シ今日ハ唯、金錢ノ貸借關係ニアリマシテ、其借金ガ濟マナイ間ハ永久ニ其人ガモウ役ニ立タナクナルマデハ、此遊廓ヲ出ルコトハ出來ナイノデアリマス實ニ今日ノ公娼制度ハ昔ノ徳川時代ノソレニ比シテ、更ニ一層殘酷ナルモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス、次ニ前借金制度ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、是ハ唯、法律上ノ解釋ニ致シマシテハ、民法上ノ貸借關係ニ過ギナイノデアリマシテ、自由廢業スルコトハ勝手デアリマス、返セレバ返ス、返セナケレバ返セルマデ待ツテ貰フ、強イテ取ラウト思ヘバ民事訴訟ノ手續ニ依ツテ取ツテ貰ヘバ宜イノデ、決シテ其身ノ自由ヲ束縛スルノデアリマセウケレドモ、悲シイ事ニハ是等ノ娼妓ハ無自覺ニシテ、自己ノ權利ヲ主張スルノ力ノ無イ者デアリマス、之ニ乘ジテ貸座敷ノ主人ハ巧妙ニ、又殘酷ニ身體ノ自由ヲ奪ツテ居ルノデアリマス、此前借金ト云フモノハ先ニモ申シマシタ通り、實ニ昔ノ身賣ト云フモノハ先ニ比シテ、更ニ殘酷ナル結果ヲ娼妓ノ體ニ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハドウシテモ撤廢シナケレバナラヌモノダト思フノデアリマス、次ニ檢徴制度ノコトニ付テ一言致シタイト思フノデアリマス、一體此檢徴ト云フコトガ有效ニ實施セラレルヤ否ヤト云フコトヲ、先ヅ研究シナケレバナリマセウ、専門家ノ說ニ依レバ、檢徴ト云フ事ハ中ニム

ヅカシイ事デアツテ、顯微鏡ヲ用ヒテ五六時間ノ時間ヲ掛ケナケレバ本當ノ檢徴ト云フモノハ行ハレルモノデハナイ、ソレデモ多クノ場合ニ於テ檢菌ヲ見落ス、有菌者ト云フコトガ極マツテ之ヲ病院ニ入レマシテモ、是亦中ニ治療ガ困難ナ事デアツテ、四年、五年、若クハ六年ト云フ年限ヲ掛ケナケレバ本當ノ根治ノ出來ナイモノデアルト云フコトデアリマス、故ニ今日ノヤウニ二分間トカ三分間トカノ檢徴ニ依ツテ、或ハ一箇月位ノ入院ニ依ツテ此檢徴ノ目的ヲ達スルト云フコトハ、實際ニ於テ出來ナイコトデアリマス、即チ此今日實施セラレテ居ル所ノ檢徴ト云フモノハ全く無効ナモノデアル、此無効ト云フ事實ヲ前提ト致シマシテ私共考ヘテ見マスル時ニ、茲ニ恐ルベキ弊害ガアルノデアリマス、之ヲ社會衛生ノ方面カラ見マルナラバ、却テ花柳病ヲ傳播サセル虞ガ多イノデアリマス、危險ヲ感ジマセウガ故ニ不用心ニ之ニ接近スル、或ハ接近スルコトヲ誘發スル虞ガアルノデアリマス、英國ニ於キマシテハ千八百八十四年ニ檢徴制度ガ撤廢セラレマシタガ、ソレヨリ四年前、千八百八十年ニ於テ壯丁檢査ノ結果ヲ見マスルニ、受檢壯丁一万人ニ對シテ花柳病患者ノ數ガ百六人ト云フコトニナツテ居リマス、制度ガ撤廢セラレテ後二十七年ナル千九百七年ニ於キマシテハ十八人ニ減ジテ居ルノデアリマス、此結果ヲ見マシテモ、檢徴ト云フコトガ却テ花柳病ノ傳染ヲ助長スルモノデアルト云フコトヲ證據立テ、居ルノデアリマス、能ク誰シモ常識カラ考ヘマシテ、公娼ヲ廢スルナラバ花柳病ノ傳染ヲ助長スルト云フコトヲ心配スル人ガ多イノデアリマシテ、是ハ尤ト一通リ考ヘラレル事デアリマスガ、我國ニ於ケル例ヲ申シマシテモ、大正十年ニ於ケル壯丁檢査ノ結果ニ依リマスルト、受檢壯丁一千人ニ對シ、花柳病患者ノ數ハ平均一八・五〇人ト云フコ

トニナツテ居リマス、東京トカ神奈川トカ、大阪
トカノ遊廓制度ノ整ウテ居ル所ニ、於キマシテ
ハ、却テ此平均數ヨリ皆多クナツテ居ルノデアリ
マス、而シテ先キ申シマシタ唯一ノ廢娼縣タル群
馬縣ニ於キマシテハ、遙ニ少クテ一・一三人ト
云フコトニナツテ居リマス、是ガ通常常識的ニ
考ヘテ、公娼ヲ廢メバ花柳病ノ傳播ガ多クナ
ルダラウト云フ此心配ハ、事實ニ反シテ居ルト
云フコトヲ私共考ヘナケレバナリマセヌ、次ニ
此檢徴ト云フコトノ爲ニモウ一ツ大キナル弊害
ノアルコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、ソレ
ハ人間ハ自己防衛ノ思想ガアリマスカラ、花柳
界ニ居ル婦人デモ、若シ自分ノ身ニ惡疾ヲ受ケ
テ居ルト云フコトヲ知ツタナラバ、直ニ休養シ
テ、早ク健康體ニナリタイト云フ心ガアル、近頃
衛生思想ノ進歩スルト同時ニ此傾向ガ強クナツテ
來タ、殊ニ東京ニ於テハ此傾向ガ強クナツタト云
フコトヲ聞イテ居リマスケレドモ、娼妓ノ場合ニ
於テハサウハ行カナイ、貸座敷ノ主人ハ娼妓ガ休
業致シマスルナラバ、其利益ヲ害シマスルガ故
ニ、成ベク之ヲサセマイトスル、ソレニ對シテ此
檢徴ト云フコトガ有力ナル論據ヲ與ヘルノデアリ
マス、御醫者サシガ病氣デナイト云フコトヲ保證
シテ居ルノデカラ休ムコトハナクスト言ツテ之ヲ
強ユルノデアリマス、斯ノ如クニシテ此檢徴ト云
フコトガアルガ爲ニ、病氣ヲ持ツテ居ル娼妓ニ醜
業ヲ強ユルコトヲ助長スル傾向ガアルノデアリマ
ス、是ハ色ノ方面カラ考ヘテ、洵ニ憂フベキ事
デアルト考ヘルノデアリマス、次ニ風致上ノ惡影
響ニ付テ申上ゲタイ、モウ一ツ誰シモ能ク言ヒマ
スルコトハ、公娼ヲ撤廢スレバ私娼ガ殖エルダラ
ウ、斯ウ云フノデアリマス、所ガ果シテソレガ事實
デアリマセウカ、私共之ヲ實例ヲ以テ申シタイト
思ヒマス、嘗テ群馬縣ニ於キマシテ公娼制度ノ撤

廢セラレタル時ニ、伊香保ニ十一軒ノ女郎屋ガア
ツタ、ソレガ廢サレタラ、私娼ガ殖エルダラウト思
ツテ居ツタ所ガ、却テ其私娼ガ殖エナカツタト云
フ事實ガアルノデアリマス、丁度是ト逆ニナル事
實ガアリマス、ソレハ和歌山縣ノ新宮町ニ於キマ
シテ、今カラ十何年前ニ遊廓ガ初メテ出來タ、其
當時新宮ニハ四十人ノ私娼ガ居リマシタ、公娼ガ
出來タ爲ニ私娼ガ減ツタカト云ヘバサウデナイ
公娼ガ九十人出來タ所ガ、私娼ガ百二十人ニ殖エ
タノデアリマス、以前ニ四十人デアツタモノガ、
百二十人ニ殖エタノデアリマス、ドウモ此性慾上
ノ關係ト食慾ノ關係トハ同ジヤウニ行カナイヤウ
デス、食慾ノ方デアリマスト四杯飯ヲ食フ者ガ、
蕎麥ヲ三杯食ヘバ飯ハ一杯デ宜シイト、斯ウ云フ
ヤウニ行キマスケレドモ、性慾ノ方ハサウ云フヤ
ウニ行カナイ、公娼ノヤウナモノヲ許シテ立派ナ
遊廓ヲ拵ヘマスルト、却テ性慾ヲ挑發スル虞ガア
ル、ソレガ爲ニ新ナル需要ガ起ツテ、公娼ノミナ
ラズ却テ私娼ノ數ヲ増スト云フコトニナルノデア
リマス、是ガ爲ニ風儀ガ紊レテ、家庭ニマデモ其
弊害ヲ及ボスト云フ結果ニナルノデアリマス、通
常常識的ニ考ヘテ、公娼ガ出來レバ私娼ガ減ルダ
ラウ、或ハ公娼ヲ撤廢スレバ私娼ガ殖エルダラウ
ト考ヘルコトハ事實ニ反シテ居ルノデアリマス、
嘗テ或ル時代ニ於テ我國ノ大臣大官ガ、公然ト馬
車ヲ花柳界ニ牽込マセルト云フヤウナ時代ガアツ
タサウデス、其當時福澤先生ガ之ニ警告ヲ發シタ
ト云フコトヲ聞イテ居ル、ソレハ花柳界ニ行キタ
イナラバ行ツテモ宜シイガ、是ハ宜クナイ事デア
ルカラ、内證ニヤレ、之ヲ公然ヤルコトハ宜シク
ナイ、社會風致ノ上ニ害ガアルト云フコトヲ言
ツタト云フコトデアリマス、今日ハサウ云
フコトヲヤル人ガアリマセヌケレドモ、嘗テ
サウ云フ時代モアツタト云フノデアリマス、

誰ガ考ヘテモ女郎買ニ行クト云フコトハ宜クナ
イ、ヤルナラヤツテモ宜イガ、之ヲ内證ニヤルガ
宜イ、遊廓ヲ拵ヘテ、ソレニ税金ヲ課ケテ、正當ナ
ル職業ト之ヲ認メ、之ニ對シテ通常ノ法律上ノ保
護モ與ヘル、或ハ社會上ノ待遇モ與ヘルト云フコ
トデハ、大ニ社會風致ノ上ニ害ニナルト考ヘルノ
デアリマス、次ニ醜業婦ノ事ニ付テ一言致シタイ
ト思ヒマス、醜業婦ハ我が國民ノ名譽ヲ海外ニ於
テ汚損シテ居ルト云フコトハ、誠ニ歎カハシイ事
デアリマスガ、海外ニ於ケル醜業婦ト國內ニ於ケ
ル公娼ト云フモノハ、直接ノ關係ハアリマセヌケ
レドモ、其因テ來ル本ヲ探ネレバ一ツデアル、醜業
婦ヲ澤山出ス地方ニ於テハ、娘ガ相當ノ年頃ニナ
ルト、一ツ外國ニ行ツテ一儲ケシテ來イ、何處何
處ノ娘ハ金ヲ澤山持ツテ來タ、甲斐性ノアル子デ
アルト云フヤウニ獎勵スル傾ガアルト云フコトヲ
聞イテ居リマス、娘ヲ賣ツテ之ヲ金ニスルト云フ
親ノ其心ト、娘ヲ娼妓ニ賣ルト云フ其親ノ心トハ
一ツデアリマス、若シ茲ニ公娼制度ノ撤廢ヲ行ツ
テ、斯ノ如キ事ハ爲スベキ事デナイト云フ斷案ヲ
下シマスルナラバ、確ニ醜業婦ヲ出ス所ノ地方ニ
對シテ、社會上ノ一ツノ制裁ヲ加ヘルコトニナ
ル、彼等ノ反省ヲ促スニ有力ナル手段トナルコト
ト信ズルノデアリマス、國際聯盟會議ニ於テ人身
賣買ヲ禁止スル條約ガ締結サレマシタ、我國ハ除
外例ヲ要求スルカ、或ハ國內法ヲ改正シテ公娼制
度ヲ撤廢スルカ、二者其一ヲ撰バナケレバナラス
潮戸際ニ立ツテ居ルノデアリマス、今ヤ公娼制度
ノ問題ニ會シテ、日本國民ハ大ニ反省シナケレバ
ナラヌ時期ニ到達シテ居ルト思フノデアリマス、
私ノ演說ハ此所デ愈、結論ニ到達シタコトデアリ
マス、前ニ申上ゲル通り、今日公娼制度ニ於テ行ハ
レテ居ル前借金制度ト云フモノハ、甚ダ宜クナイ
制度デアアル、人身賣買ヲ認メル所ノ制度デアリマ

ス、檢査制度ト云フモノハ無効ニシテ有害ナル制度デアリマス、之ヲ社會衛生ノ上カラ考ヘマスナラバ、花柳病ノ傳染ヲ助ケルモノデアリ、又娼妓ノ健康ヲ破壞スルコトヲ助長スル所ノ惡制度デアリ、公娼ヲ廢止スレバ私娼ヲ増加スルヲラウト云フコトニ對シテハ、是ハ全ク事實ニ反スル非常ノ杞憂ニ過ギナイト云フコトヲ述ベタリデアリマス、是等ノ事ヲ考ヘテ、今日ノ公娼制度ト云フモノハ、ドウシテモ撤廢シナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、我國ノ現狀ニ照シテ決行ヲ要スルコトハ、ドウシテモ此公娼制度ノ撤廢デアリマス、ソレニ付キマシテ私共ハ併セ考ヘナケレバナラス事ハ、私娼ニ對シテハ相當ナル取締ヲスルト云フ程度ニ止メタイト思フ、之ニ餘リ嚴重ナル干涉ヲシナイコトニ致シタイト思フデアリマス、社會ノ風儀ノ亂レナイ程度ニ於テ、餘リ嚴重ニ之ニ干涉シナイコトニシタイト思フデアリマス、此種ノ社會問題ニ對シテ、法律萬能ノ思想行クト云フコトハ宜クナイ、社會ノ制裁、個人ノ自省ニ重キヲ置クト云フ主義ヲ取リタイト思フデアリマス、而シテ此公娼廢止ト云フコトハ、實際ニ於テ極メテ困難ナル事デアラウト云フ說モアルト思ヒマスガ、序ニ私ハ愚見ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、第一ニ源ヲ塞グト云フコトガ宜イト思ヒマス、今日五萬ノ公娼ニ對シマシテ、八千ノ新シイ若い娘ガ花柳界ニ流込ムト云コトデアリマスガ、之ヲ禁止スルト云フコトニスレバ宜イト思ヒマス、次ニ現存スル公娼ニ對シテ、成ベク有ユル方法ヲ講ジテ、自由廢業ヲサセルト云フコトニスレバ宜イト思ヒマス、此種類ノ金錢貸借ハ社會ノ良風、美俗ヲ害スルモノデアリマスガ故ニ、之ニ對シマシテ法律上ノ保護ヲ禁止スルト云フコトモ宜イト思フ、最後ノ方法ト致シマシテハ、政府ガ之ニ對シテ賠償スルモ宜カラウ、今日ノ五萬ノ公娼ニ對シ

テ政府ガ賠償ヲ與ヘルト致シマシテ、一人三百圓トスレバ千五百萬圓デアリ、政府ノ言明スル所ニ依レバ、此度ノ大震災災ニ於ケル復舊、復興ニ對シテ十五億ノ金ガ要ルト云フコトデアリマス、物質的復興ニ付テ十五億ノ金ヲ使フナラバ、精神復興上ノ大問題タルガ爲メニ、百分ノ一ノ千五百萬圓ノ金ヲ使フタカラト云ウテ、敢テ驚ケベキデハナイカト思フデアリマス、帝都復興ヲ行フニ付テハ、外部ノ美ヲ飾ルニ止メズ、社會ノ内容ヲ充實シ、古來ノ惡習慣ヲ打破シ、精神復興ノ實ヲ擧ゲナケレバナラスト思フデアリマス、此際我國ニ現存セル公娼制度ノ撤廢ヲ斷行スルコトヲ得マスルナラバ、是ハ子孫後世ニ對スル一大貢獻デアリ、世界人道ニ對スル功績デアルト私ハ信ズルデアリマス、而シテ此復興議會ニ於ケル差當リノ仕事ト致シマシテハ、此度燒失セル吉原、洲崎等ノ遊廓ヲ再興セシメナイコトニ致シタイト思フデアリマス、政府ヲシテ此目的ヲ達スル爲ニ、相當ノ手段、方法ヲ講ゼシメルノ必要アリト考ヘルデアリマス、吉原ト云フ名ハ今日世界ニ有名ニナツテ居リマス、ソレハ宜イ意味ニ於テアリマセヌ、東京ニ於ケル人肉ノ市場ト致シマシテ、二十世紀ノ今日、尙ホ我國ニ於テ現存スル白奴制度ノ標本トシテ、世界ニ有名ニナツテ居ルデアリマス、若シ吾人ノ努力ニ依ツテ此大震災災デガ出來ルナラバ、國際關係上極メテ好キ影響ヲ持來スル私ハ信ズルデアリマス、復興ノ爲ニハ外資ヲ募集シナケレバナラスケレドモ、假令是ガ爲ニ千五百萬圓ヤ、二千萬圓ノ金ヲ使ウタト致シマシテモ、是ダケノ種ヲ撒イテ置キマスナラバ、後日吾人ガ外債ヲ募ル場合ニ於テ、必ズ十倍、二十倍、或ハ三十倍ノ收穫ヲ吾人ニ持來スコト、信ズルデアリマス、諸君、願クハ本建議ニ對シテ

慎重審議御賛成アラシコトヲ希望致シマス(拍手)
○議長(粕谷義三君) 賛成演說ノ通告ガアリマス、星島二郎君

(星島二郎君登壇)

○星島二郎君 今回ノ震災後ニ、非常ニ眞面目ニ緊張スベキ議會ニ於テ、何トナシニ今迄獸ナ感ジラ以テ終始サレタノデアリマスガ、今日此議案唯一ツガ此議會ニ於ケル精神の意味ヲ含メタ案ト致シマシテ、私ハ之ニ賛成スルノ光榮ヲ有スルノデアリマス、私ハ公娼制度全廢論者デアリマス、公娼制度ヲ全廢スル前提ヨリ、其實行方法トシテ此案ハ誠ニ賢イ方法デアリ、燒ケタ跡ヲ許サナイ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ私ハ本案ニ賛成ヲ表スルデアリマス、私ハ今提案者ノ説明ヲ聽キマシテ、非常ナ知識ヲ得タノデアリマスガ、姑ク衛生問題、或ハ其他ノ實際ノ方法カラ離レマシテ、法律問題トシマシテ、ドウシテモ公娼制度ハ存置サルベキ筈ノモノデナイ、日本ノ憲法上、日本ノ民法上、此現存ヲ見テ居ル現狀ガ怪シカラヌ事デアルト云フコトニ付テ、暫ク御清聽ヲ煩シタイト思フデアリマス、元來私ハ公娼制度全廢論ヲ致シマスル其根據ハ、單ニ風紀衛生ト云フ問題デナクシテ、婦人モ共ニ御互ニ人間デアルト云フ立場、モット日本ノ婦人ヲ人間ラシク扱ツテ欲シイ、サウスルコトガ日本ノ文化ノ爲デアリ、勞働問題ニシマシテモ、或ハ普選問題ニシマシテモ、其論據ハモット御互ニ人間ラシクアリタイ、サウ云フ社會ニシタイト云フ前提カラ、此問題ヲ取扱ツテ見タイト思フデアリマス、御參考ノ爲ニ、如何ニ現在ノ日本ノ婦人ガ男子ト差別ノ待遇ヲ法制上受ケテ居ルカト云フコトヲ調べテ見タイト思フデアリマス、實際ハ是ハ公法上、私法上、是程アルカト思フ程ニ驚クノデアリマス、長クナリマスカラ其項目ダケヲ茲ニ羅列シテ見マスレバ、第一公法關係

ニ於キマシテ、議會、府縣會、市町村會、斯ウ云フモノニ對シテ選舉權モ無クレバ被選舉權モ無イ、是ハ公知ノ事實デアル、唯、タツタ一ツ商業會議所ノ選舉資格アルヤウニナツテ居リマス、第二ニ官吏トナリ得ル範圍ガ極メテ狭イ、第三ハ辯護士其他ノ職業、之ニ對スル制度ガ餘程狭イ、第四ハ高等教育ノ機關ガ婦人ニ對シテハ非常ニ男子ニ比シテ設備ガ劣ツテ居ル、第五ハ婦人勞働者ノ保護ガ甚ダ不十分デアル、男子ト比シテ――第六ハ婦人ノ人格及貞操ノ保護ガ十分デナイ、是ガ即チ公娼制度ノ最モ主ナル箇條デアリマス、先ヅ公法關係ニ於キマシテ此六項ガ主ナル事項トシテ私ハ揚ゲ得ルト思ヒマス、第二ニ私法關係ト致シマシテ、是ハ實ニ驚イタ狀態デアリマシテ、舉ゲレバ澤山アリマスガ、極ク主ナ點ダケヲ茲ニ羅別シマスレバ、第一ニ家督相續ノ順位ニ於テ男子ニ劣ツテ居ル、嫡出女子ヨリモ庶出男子ノ方ガ前順位ニナツテ居リマス、第二ハ妻ガ白痴ヤ其他ト同ジヤウニ民事上ノ無能力者トナツテ居ルト云フコトデアル、第三ハ夫婦財產制度ガ妻ニ非常ナ不利益ニナツテ居ル、第四ハ妻ノ姦通ハ犯罪ヲ構成シテモ、夫ノ姦通ニ對シテハ問題ニサレテ居ナイ、離婚ノ原因トナツテ居ナイ、第五ハ内縁ノ夫婦關係ガ保護セラレテ居ナイ、第六ガ夫ノ遺產ニ對スル妻ノ相續權ヲ十分ニ認メテ居ナイ、第七ガ子ニ對シテ母ガ第一位ノ親權者トナツテ居ナイ、第八ハ母ガ親權者タル場合ニハ親族會ノ監督ニ服サナクバナラヌ、第九ハ私生兒ノ母ノ保護ガ十分デナイ、殊ニ其父ノ死後、認知ノ請求ガ出來ナイコトニナツテ居ル、第十八ハ寡婦ハ婚家及實家ノ戸主ノ同意ガナケレバ、實家ニ復歸スルコトガ出來ナイ、コンナ風ニ列ベテ參リマスレバ、皆様が總クニ堪ヘヌ程ニ澤山アル、ソレハ或ハ僅カノ時間ノ間ニ現在ノ日本

ノ婦人ガ得テ居ナイ權利、民事ダケデ左様ニ聽クニ堪ヘヌ程澤山日本ノ婦人ガ男子ト差別ノ待遇ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソレガ婦人ノ奴隸的法制ノ現狀デアリマスガ、其中デ最モ酷イノハ現在ノ公娼制度デアリマス、私ハ此問題ヲ法律ノ本則論ヨリ之ヲ姑ク考慮シテ見タイト思フノデアリマス、皆様モ御存知ノ通り、民法ノ九十條ニハドウ規定シテアル、公ノ秩序、善良ナル風俗ニ反スル法律行為ハ是ハ無効デアアル、實際カラ言ヒマスレバ、此民法ノ九十條ヲ徹底シマスレバ、現在ノ特別法規ハ無効トシナクレバナラヌト自分ハ信ズルノデアリマス、公娼制度ニ關シマシテノ特別法規ハ、明治三十三年ノ十月ニ内務省ノ娼妓取締規則ト云フモノガアルノデアリマス、而モ此取締規則ハ現在ノ公娼制度トシテ現レテ居ル、樓主ヤソレヲ商賣トシテ營業シテ居ル所ノ人ヲ取締ルニ非ズシテ、娼妓自ラニ對スル所ノ取締令トナツテ居ルノデアリマス、假ニ姑ク民法ノ九十條カラ離レテ、今日現存スル樓主ト、サウシテ娼妓トノ契約關係上ヨリ論ジテ見マスレバ、私ハ大審院ノ判例モサウナツテ居リマスガ、雇傭契約ニ過ギナイ、即チ娼妓ト營業主タル樓主トノ所謂契約ハ、雇傭契約ト認ムルヨリ外ニ仕方ガナイ、雇傭契約トハ即チ勞務ヲ提供スルコトニ依ツテ成立スル契約デアリマス、私ハ今日三十人以上ノ客ヲ取ツテ居ル彼ノ隣レナル所ノ娼妓ノ行爲ヲ、諸君勞務ト認ムルコトガ出來ルカ、勞働ト認ムルコトガ出來ルカ、是ガ即チ既ニ大ナル疑問デアリマス、而モ雇傭契約ノ原則ハ羅馬法、所謂奴隸制度カラ來ツタモノデアリマシテ、其根本ノ所謂奴隸的ノ感ジノスル契約デハアリマスガ、私ハ現在ノ娼妓、彼ノ行爲ヲ勞働ト見ルコトガ出來ナイ、勞務ト見ルコトガ出來ナイ、サウシテ第二番目ニ甚ダオカシイト思ヒマスルノハ、多クノ娼妓ハ前借金ヲスル、即チ樓

主ガ債權者デアル、其債權ニ對スル擔保ノ提供ハ何デアルカ、私ハ現在ノ日本ノ此民法ノ精神カラ考ヘマシテ、斯カル契約ヲ認ムルコトハ、是ハ民法ノ九十條ノ精神ニ反シテ居ルト自分ハ思フノデアリマス、即チ債權ノ擔保ニ、最モ人倫ノ尊ムベキ貞操ヲ提供スルコト云フコトハ、是レ大ナル善良ノ風俗ヲ攪亂スルモノデナイカト思フノデアリマス、而モオカシイノハ普通ノ債權債務ノ關係ヨリ致シマスレバ、多クハソレニ依ツテ得タル金ヲ其債務者タル娼妓ガ先ヅ取ツテ、然レ後ニ之ヲ債權者タル樓主ニ返スト云フ方法デナケレバナラヌ、此原則ヲ破ツテ、債權者タル者ガ之ヲ取ツテ、自由ニ債權ニ充當スルト云フヤウナ不自然ナル事ガ行ハレテ居ルノデアリマス、私ハ道德論ヨリ、サウシテ神聖ナル法律ノ解釋ヨリシマシテ、假令雇傭契約デアルト云フコトヲ承認シマシテモ、民法ノ大精神ヨリ斯カル契約ハ無効デアルト當局者ハ之ヲ判定シナケレバナラヌト自分ハ解釋ヲ下スノデアリマス、最モ酷イノハ現在ノ契約ニ於キマシテ、結婚ヲセザルト云フコトヲ條件トスルヤウナ契約ガアツタナラバ是ハ勿論無効デアリマス、樓主ト娼妓トノ此雇傭契約ニ於キマシテ、或程結婚ハ致シマセスト云フ證文ハ入レテ居ナイ、併ナガラ事實結婚ヲスルコトハ出來ナイコトニナツテ居ルデアリマス、正ニ姦通罪ガ成立スルカラデアリマス、法律論カラ致シマシテ、私ハ此所謂雇傭契約ハ、確ニ無効ト認ムベキモノデアルト自分ハ信ズルノデアリマス、私ハ民法ノ九十條ノ解釋ヨリ、今日ノ彼等ノ契約ハ無効デアアル、其無効ナ契約ヲ以テ營業シテ居ルノヲ許スノハ當局者ガ惡イ、故ニ今更此所デ公娼制度ノ廢止ヲ決議シナイ迄モ、正ニ政府ハ之ヲ取締ツテ公娼制度ヲ全滅シナケレバナラヌト自分ハ思フノデアリマス、而モ茲

ニ面白「エビソート」ヲ諸君ニ御紹介申シタ
イト思フ、私ハ明治ノ革新ニ於キマシテ、色ミ
ナ青年政治家ガ思切ツタル斷行ヲシタルコトニ
對シテ非常ニ敬意ヲ拂フ、斯クアツテコソ本當
ニ明治ノ革新ガ出來タリデアツテ、今日ノヤウ
ナ大震後ノ此議會ノ狀態デハ、第二ノ維新ハ來ナ
イト自分ハ甚ダ憂ヘテ居ル、私ハ流石ニ明治維新
時代ノ政治家ハ偉カッタ今カラ思フ、ソレハ斯
ク云フコトガアル、明治五年ノ七月ノ事件デアリ
マス「マリヤルーズ」ト云フ船ガ横濱ニ這入ツテ
來タ、其船ノ中ニハ祕露人ノ「ベロー」ト云フ
人ガ二百三十人ノ支那ノ奴隸ヲ船ノ中ニ隠シテ來
タ、所ガ隠レテ來ル苦痛ニ堪ヘナイノデ、一人ノ
奴隸ガ海ニ飛込シテ横濱ノ沖デ逃ゲヤウトシタ、
之ヲ英國ノ船ガ救ツテ、日本ノ官憲ニ之ヲ渡シタ
コトガアル、其當時橫濱ノ所謂神奈川縣令ガ大江
卓氏デアツタ、時ノ司法卿ノ江藤新平氏ガ此事件
ニ於キマシテ、一人ノ此奴隸ヲ救ツタノミナラス、
思切ツテ——是ハ怪シカラヌ、祕露人ガ二百三十
人ノ奴隸ヲ一體連レテ來ルトハ怪シカラヌト斯ウ
云フノデ、二百三十人全體ヲ開放シテ支那ニ返シ
タ爲ニ、非常ノ外交問題ヲ惹起シタ、其時ニ問題
ガ起リマシテ、日本ノ外務當局モ困ツテ、到頭露
國皇帝ノ仲裁迄ガアツタノデアリマス、併ナガデ
當時ノ政府ハ斷乎トシテ之ヲ排シテ、到頭日本ノ
勝利ニ歸シタ、面白イノハ其時ニ祕露ノ政府カラ
日本ニドウ云フコトヲ言ツテ來タカ、人身賣買ハ
日本政府ノ公認スル所デアアル、彼ノ吉原ヲ見ヨ、
洲崎ヲ見ヨト斯ウ言ツタヤウナ調子デ、勝ツコト
ハ勝ツタガ、日本ノ此公娼制度ヲ世界ニ發表シテ、
公ニシテ宣傳サレタノハ祕露政府デ、サウシテ時
ノ司法卿ハ成程ソコハ正直デ惡イ、確ニ自分ガ大
キナ顔ヲシテ此支那ノ奴隸ヲ開放シタノハ宜イケ

レドモ、成程考ヘテ見レバ日本ニモ人身賣買ハ現
在行ハレテ居ル、之ニ氣ガ付イタ、私ハ是ハ實ニ
江藤新平、流石偉イト思フ、明治五年ノ七月ニ斯ウ
云フ事件ガアツタニ拘ラス、惡イト知リマシタノ
デ明治五年ノ十月二日ニハ直ニ成程思イ、斯ウ云
フノデ太政官布告第二百十五號、是ハ御參考ノ爲
ニ一ツ讀ンデ見タイト思フ、第一ガ「人身賣買シ
終身又ハ年期限リ其主人ノ存意ニ任セ處使致シ
候ハ人倫ニ背キ有ルマジキ事ニ付古來制裁ノ處從
來年奉公等種々ノ名目ヲ以テ奉公住爲致其賣買
買同様に所業ニ至リ以テ外ノ事ニツキ自今可爲
嚴禁事」第二ガ「娼妓藝妓等年奉公一切解放可致
右ニ付テハ貸借訴訟總テ不取上事」斯ウ云フ布告
ヲ出シテ居ルノデアリマス、而モ此布告ハ今決シ
テ反故ニナツテ居ナイノデアリマス、サウシテ太
政官布告第二百十五號ニ出シテ置イテ、一面司法
省ノ告示第二十二號トシマシテ、是ハ先ノ明治
五年十月二日デ、司法省ヨリハ明治五年ノ十月九
日ニハ餘程面白イノデアリマス、序ニ讀ミ處
ガ、第一ハ「人身賣買スルノハ古來ノ制禁ノ處
年期奉公等種々ノ名目ヲ以テ其賣買同様に所業ニ
至ルニツキ娼妓藝妓等ノ資本金ハ贖金ト看做ス
故ニ右ヨリ苦情ヲ唱フル者取糾シノ上其金額ヲ可
取揚事」實ニ面白イ斷案デアリマス、第二ガ「同上
ノ娼妓藝妓ハ人身ノ權利ヲ失フ者ニテ牛馬ニ異ナ
ラズ人ヨリ牛馬ニ物ノ返辨ヲ求ムルハ理ナシ故ニ
從來同上ノ娼妓藝妓ニ借ス所ノ金銀並ニ賣掛滯金
等ハ一切賣ルベカラザルコト」之ヲ詰リ當時ノ司
法卿江藤新平氏ガ出シテ居ルノデアリマス、明治
五年ニ斯ノ如キ斷乎タル特別命令ヲ出シテ居ルノ
デアリマシテ、サウシテ明治三十三年ニ現存ノ所謂
藝娼妓ノ取締規則ガ出テ居ルノデアリマス、私ハ
憲法ニ於キマシテ天皇ノ大權トシテ第九條ニ、議
會ニ於キマシテ協賛シタル以外、議會ニ於キマシ

テ協賛シタル法律、其法律ノ精神ヲ能ク徹底スル
ヤウニ各省或ハ警視廳、其他ノ官衙ハ命令ヲ出シ
マス、此命令ハ天皇ノ大權ニ屬スル事項デアツテ、
勿論有效デアリマス、レドモ、其命令ガ若シ法律
ノ本則ニ違反シタル時ハソレハ無効デアリ、斯カ
ルコトヲ命令スルコトハ出來ナイ、私ハ一面カデ
ヒマス、レバ現在ノ公娼制度ニ關スル色ミナ警視
廳令其他ガアルカ知レマセヌガ、サウ云フモノハ
全部民法ノ大本ヨリ、而シテ太政官達、若クハ司法
省告示等ノ精神ヨリシマシテ、現在ノ別段廢止ノ
法律ヲ規定セナイ迄モ、私ハ無効デアルト信ズル
ノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、私ハ明
治ノ初年江藤司法卿ガ取ツタヤウニ、此大震災ノ
革新スベキ時ニ御互ガ笑ツテ斯ウ云フ問題ヲ討議
ニ當ツテ議スルデナク、眞ニドウカシテ此新東京
ニ——日本ノ中心ニ精神的文化ノ中心ヲ造ル爲ニ
ハ、斯ウ云フ問題コソ本當ニ、眞面目ニ、御互ニ議
員ガ取扱フベキモノデハナイカト自分ハ思フノデ
アリマス、總テ微菌ヲ燒盡シタ此東京ノ焦土ニ再
ビ斯カル吉原ヤ洲崎ヲ實現スルト云フコトハ澤山
ノ同情、清イ金ヲ以テ此東京ヲ救ハントシタ、或ハ
亞米利加、英國、其他ノ人ニ對シテ濟マナイト自分
ハ一面カラ思フノデアリマス、實際諸君、一人ノ憐
レナル娼婦ガ居ル、三十人、四十人ノ客ヲ取ツテ其
較ル金カラ税金ヲ取ルヤウナコトデ、其税金デ何
デ日本ノ本當ノ國ガ文化ニ導カレマセウガ、私ハ
サウ云フ意味カラ法律論ト致シマシテモ、實際論
ト致シマシテモ、今更制度ヲ廢止スベキ法律ハ作
ラナクトモ、既ニ廢止スベキモノデアルト云フ前
提カラ、其實行方法トシテ最モ賢イ、先ヅ第一ニ
焦土カラ許サナイデ、段々ト之ヲ廢シテ行クト云
フ、斯ウ云フ公娼制度ノ絕對的全廢論ヨリ推シマ
シテ、此原案ニ對シテ非常ナル賛成ノ意ヲ表スル
一人デアリマス

○高見之通君 本案ハ森格君外三名提出、相模西部ノ復興ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○中野寅吉君 議長、私ハ質疑ノ通告ヲ致シテアリマス

○議長(粕谷義三君) 中野君カラ質疑ノ通告ガアリマスカラ、ソレヲ許シマス——中野君——早ク……

〔登壇「登壇」ト呼フ者アリ〕

〔中野寅吉君登壇〕

○中野寅吉君 私ハ極ク簡單ニヤリマス、先ヅ提案者ニ對シテ私ハ質疑シマスガ、是ハ何デスカ、其……燒失遊廓再興不許可ナル、是ハ燒ケタメケノ遊廓ヲ不許可ニシテ、ソレデ公娼ノ制度ガ廢メラレテシマフト云フノカ、燒ケタノヲ幸トシテサウスルノカ、サウ云フ情ケナイ事ヲスルモノデハナイ(ヒヤ、ヒヤ)「拍手」本當ニ公娼ト云フコトハ人道ニ反スルモノデアル、我ガ日本帝國ノ爲ニナラヌ、何カ其世界ノ人道トカ、又其外國ノ諸ナニ分ラナイ言葉デ言ウケレドモ、俺ハ外國語ナドハ知ラヌ奴デアルカラ分ラナカッタガ、日本帝國ノ國會デ議論スル時ハ、帝國ヲ本位トシナケレバナラヌ——帝國ノ爲ニナラヌト云フ公娼デアツタナラバ、何ガ故ニ吉原、洲崎ダケニシテ、他ノモノヲ置イテ宜イカ、ケツメドノ小サイコトデ、是デモ國會議員ト言ハレルノカ、即チ吉原、洲崎ノミテ廢シテ、燒失シタ遊廓ノ再興ヲ認メナイデ、各府縣ノ娼妓制度ハ之ヲ認メテ居ル、斯ウ云フノカ、是ガ徹底シナイ、不徹底ダ居ラシテ僕ハ此質問ヲスル、ソレカラ松山君ハ今、朝鮮ニ居ルガ、アナタノ居ラレル其朝鮮ノ新附ノ民ヲ助ケルト云フヤウナ精神モ、是ハ帝國ノ國會議員トシテ必要ダ、此壇上デ君ガ吉原、洲崎ノ話ヲスル前ニ、先ヅ以テ朝鮮ノアノ奴隸制度ニ等シイ所ノモノヲ

何故改革シナイ、朝鮮ノ兩班ト稱スルモノハ十二三ニナル見目容ノ好イ者ヲ五十圓、六十圓ノ金ヲ出シテ、未ダ性慾ヲ知ラヌ奴ヲ買ツテ行クデハナイカ、其足許カラシテ綺麗ニシテ、サウシテ此吉原ノ話、東京ノ話ヲシタガ私ハ宜カラウト思フ(笑聲)徹底シナイ、星島君ハ法律家トシテ私ハ知ツテ居ツタカ、詰ラヌコトヲ言フ茲通罪ハ女ニ成立スル、男ニ成立セヌト言フ、サウ云フヤウナコトハ決シテナイ——速記録ニチヤントアル——夫ガ他ノ女ニ對スル場合ニモ茲通罪ハ成立シマス、夫ガ他ノ妻ニ對シテサウ云フコトヲシテハ成立シマス、法律家ト云フ者ハサウ云フコトヲ言ツテハ餘リ安ソボクナルト私ハ思フノデアル、ソレデモ宜シイノカ、斯ウ云フノデス、ソレカラ統計ヲ舉ゲテ、群馬縣ハ壯丁ニ花柳病患者ハナイト云フ、併シソレハ經路ヲ糺シテ見ルベキコトデアアル、花柳病ニ感染シタ時ト壯丁檢査ノ間ニハ、御醫者様ニ掛ツテ癒ホシテ貰フト云フ經路ガアルノデアル(ヒヤ、ヒヤ)「群馬縣ニ於ケル所ノ外科醫者ノ跋扈シテ居ル有様ヲ見テモ、群馬縣ハ如何ニ花柳病ガ盛ンデアルカト云フコトガ分ツテ居ルデハナイカ(ヒヤ、ヒヤ)「ソレカラモウ一ツ言ヒタイコトハ、壯丁々々ト言ツテ壯丁計リヲ此花柳病ノ標的ニスルノハ是ハイカヌ、壯丁外ニ不良老年ト云フモノガアル(拍手)即チ壯丁ノ滿二十歳ニナル迄ノ間ハ先ヅ地方ナラバ親ニ内證デ米ノ二斗モ胡麻化シテ賣ツテ、サウシテ漸ク勞ヲ休メニ行クノデアル、ソレテ今度一家ノ戸主ニナルニ、人ニ借用證文ノ書方モ覺エレバ、人ニ分ラズニ、サウ云フ方ノ目的ヲ達スル爲ニ行ク者ガ、却テ此病毒ニ感染シテ居ル、然ルニ壯丁ニ徵集ガ無イカラ不良老年ノ方ニモ無イト斷ズルノハ、是ハ全ク事實ヲ知ラヌ所ノ議論デアルト言ツテモ私ハ宜シイト思フ……

○議長(粕谷義三君) 中野君注意致シマス、アナタハ質疑ノ通告デアリマス、討論ノ通告デハナイノデアリマスカラ……

○中野寅吉君(續) 是ガ質疑ニナルノデアリマスガ、議長ノ御注意ヲ尊重致シマシテ、私ハモウ少シ二三、時計ヲ見テ置イテヤリマス——ソレカラ斯ウ云フモノヲ廢シテ、自由ニ此性慾ノ滿足ヲ得ル所ノ場所ヲ開放スルコト、ナツタナラバ、世ノ中ノ風紀ト云フモノガ紊レルノデアアル、良家ノ子女ガ第一ニ害サレル、御覽ナサイ、人間慾ノ中デ一番猛烈ナル慾ハ、何デアルカト云ヘバ性慾デハナイカ、雲井龍雄ト云フ偉イ人が居ツタ、安井息軒ト云フ儒者ニ就テ學ンダトキ、一年程經ツテ安井息軒ノ前ニ雲井龍雄ガ出タ、其時迄ハ先生ニハ何事モ質問シナカッタガ、先生一ツ御伺ヒカアリマス、何ダ、私ハ……(質疑ニアラス)ト呼フ者アリ)質疑ダ、是ガ質疑ニナルノダ、君ハ吉原廢止論ナドヲヤルト落選スルヨ(帝國議會ガ眞面目ニヤレ)ト呼フ者アリ)眞面目ニ聽ケト——雲井龍雄ガ安井息軒ニ問ウテ曰ク、私ハ色慾ヲ制スルノガ一番難事ト思ヒマス、之ヲ制スルノハドウシトラ宜シウゴザイマセウト言ツテ、安井息軒ニ雲井龍雄ガ聽イタ、其時ニ安井息軒ハオ前ハ一年以上モ此處ニ居ルカラ何カ質問シテ來ルト思ツテ居ツタガ、私ハソレヲ待ツテ居ツタ、サウシテ安井息軒答ヘテ言フニハ、ソレハ極ク易イ事デアアル、即チ人間一生懸命ニナラナイカラ色慾ト云フ玆ニ邪念ガ發スルノデアアル、利口ナ雲井龍雄ガカラシテ飄然トシテ悟ツテ一生懸命ニナツタ、諸君、安井息軒ノ如キ、雲井龍雄ノ如キ偉イ人ニシテ、初メテ此性慾ハ制シ得ラレト私ハ思フ……

○議長(粕谷義三君) 中野君——中野君

○中野寅吉君(續) 其性慾ノ滿足ヲ得ント欲シテ之ヲ滿タスベキ場所ガナカツタナラバ、良家ノ細

君、良家ノ娘マデモ或ハ害サレルヤウニナル

○議長(粕谷義三君) 中野君、質疑デナイカラ注意致シマス

○中野寅吉君(續) ソレカラモウ一ツ、此公娼制度ガ徵稅ノ目的デアルト云フ……

〔中止〕中止「ト呼フ者アリ」

○議長(粕谷義三君) 中野君——中野君

○中野寅吉君(續) 中止デアリマス——議長ハ注意ト云フノニ、アナタ方ハ、中止ト云フガ……

○議長(粕谷義三君) 注意ヲ肯カナケレバ中止ヲ命ジマス

〔注意ダ〕「注意ダ」「簡單」「簡單」ト呼フ者アリ

○中野寅吉君(續) 簡單ト言ハレ、バ、マダ殘ツテ居ルノデ、私ハ簡單ニヤラウト思ツテ居ルノデ、ソレカラ公娼制度ガ徵稅ノ目的デアルト云フコト、ソナナ筈ナ話ガアルモンデヤナイ、是全ク人間ノ性慾デスネ、性慾ノ満足ヲ得ル能ハザル者ニ對シテ、性慾ノ満足ヲ得セシメルト云フ所カラ出來タモノダ——是ハ税金ヲ取ル目的デモ何デモアリマセヌゾ、仕方ガナイデハナイカ、人間ガ斯ウ云フ時ニ、人間ト云フ此身體ノアル以上ハ、ソイツヲ各方面ニ調和シテ、サウシテ堪ケバ溢ル、ト云フヤウナ、此危害ノナイヤウニシテ行クノガ私ハ宜カラウト思フ、即チ公娼制度ヲ廢シテ性慾ノ満足ヲドウ云フ制度デ以テ得セシメルト云フノカ、是ハ松山君ト賛成シタ星島君ニ私ハ聽ク、公娼ヲ廢止シテ、ソナナラ自由自在ニ性慾ヲ各方面ニ遏ウセヨト云フノカドウカ、ソレデハ破壊論デアル、私ノ言フコトハ一通リ理窟ハ有ルト思フ、宜シク之ニ對シテ答辯ヲ願ヒタイ、

○高見之通君 議長

○議長(粕谷義三君) 松山君ガ今答辯セラレマス〔無用〕無用「ヤレ」ト呼フ者アリ

〔松山常次郎君登壇〕

○松山常次郎君 只今ノ中野君ノ質問ニ對シテ、簡單ニ御答致シマス、吉原、洲崎ノミヲ廢メヨト云フコトハイケンイト云フ御議論デアリマシタ、私ハ一番初メニ、私ノ議論ノ目的ヲ闡明シテ置イタ答デアリマス、即チ公娼制度ノ撤廢ト云フコトガ、目的デアリマス、唯、復興議會ニ於テ差當リ爲スベキ事トシテハ、吉原、洲崎ダケヲ今廢メナクレバナラナイト云フデアリマス、次ニ第二ノ朝鮮ノ兩班云々ノ事ガアリマシタガ、是ハ答ヘマセヌ、必要ガナイト思ヒマスカラ答ヘマセヌ、ソレカラ群馬縣ニ於ケル花柳病患者ノ事ニ付キマシテ私ノ引イタ例ヲ論駁セラレマシタ、其論駁ト致シマシテハ、私ノ確ナ數字ニ對シテ中野君ハ數字ヲ以テ考ヘテ居リマセヌ故ニ、是ハ有力ナル論駁トハ思ヒマセヌ、唯、不良老年ノコトヲ申サレマシタガ、不良老年ノ爲ニ公娼制度ヲ置ク必要ハ無イト思ヒマス、次ニ中野君ハ雲非龍雄ノ事、安非息軒ノ事ニ付テ御話ニナリマシタガ、是ハ私共ガ此公娼制度ヲ廢シ、性慾ヲ或ル程度ニ制スルト云フコトニ付テ、青年ノ思想ヲ向ケタイ、第一ノ私共ノ論ゼントスル所ヲ言ウテ下サツタノデアリマス、唯、之ヲ例ニ引カレタ中野君ノ目的ハ、是ハ絶娼論ノ論駁ニナツテ居リマスガ、廢娼論ノ論駁ニハナツテ居リマセヌ、吾々ハ絶娼論ヲ唱ヘテハ居リマセヌ

○議長(粕谷義三君) 高見之通君

○高見之通君 念ノ爲メ先刻ノ動議ヲモウ一度繰返シマス、本案ハ森格君外三名提出ノ、相模西部復興ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セ付託セラレントヲ望ミマス

〔賛成〕賛成「ト呼フ者アリ」

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○鈴木錠藏君 議事進行ノ事ニ付テ發言ヲ求メマス

○議長(粕谷義三君) 鈴木君

○鈴木錠藏君 只今中野寅吉君ノ御演說ハ用語ガ卑猥ニ互リマシテ、議會ノ品位ヲ傷ケルモノガ大ナルヤウニ思ヒマス、サウ云フ箇所ガアリマシタバ、速記録カラシテ削除アランコトヲ希望致シマス

〔賛成〕賛成「ト呼フ者アリ」

○議長(粕谷義三君) 議長ニ於テモ能ク取調ベテ注意シマス、日程第十一、農務省新設ニ關スル建議案、本案ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマス之ヲ許スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ延期致シマス、尙ホ此際先刻廻シニ致シテ置キマシタ日程第八、輸入稅免除廢止ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、土井權大君

第八 輸入稅免除廢止ニ關スル建議案

(小橋澤三衛君外一名提出)

輸入稅免除廢止ニ關スル建議案

輸入稅免除廢止ニ關スル建議案

外國ヨリ輸入スル米大麥小麥及コンデンスドミルク輸入稅ノ免除ハ國內ニ於ケル其ノ價格ヲ壓迫シ農村ヲシテ一層窮苦ニ陥ラシムルノ虞アルヲ以テ政府ハ速ニ是等輸入稅ノ免除ヲ廢止スヘシ

右建議ス

〔土井權大君登壇〕

○土井權大君 極メテ簡單ナ建議デアリマス、即チ我ガ革新俱樂部ヨリ致シマシテ、輸入稅免除廢止ニ關スル建議ノ提出ヲ致シテアリマス、其説明

ノ理由デアリマスガ、極メテ簡單デアリマス、御承知ノ通り震災以前迄ハ、外國カラ米ガ輸入サレル場合ニ、一石ニ付二圓五十錢ノ關稅ヲ取ツテ居ツタノデアリマス、ソレカラ大麥ハ百斤ニ付五十五錢、小麥ハ百斤ニ付七十七錢、コシデシスミルハ五圓五十五錢、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ツタノデアリマスガ、震災ノ爲メ政府ニ於テハ是等食料品ノ分量ヲ多カラシムルト云フ目的ト、一方ニハ其價格ノ上ルノヲ防グト云フ目的ヲ以テ、其關稅ノ撤廢ノ爲ニ、一ハ緊急勅令ヲ出シ、一ハ米穀法ヲ適用サレタノデアリマス、即チ此米ノ關稅廢止ハ、米穀法第二條ニ依ツテ廢止ナシタノデアリマス、大麥、小麥、コシデシスミルハ等ハ緊急勅令第四百一十一號ニ依ツテ、此輸入稅ヲ免除シタノデアリマス、而シテ此期限ハ明年三月三十一日迄、斯ウ云フコトニナツテ居ル、併ナガラ最早今日ハ御承知ノ通り餘程復興モ出來、世ノ中モ平和ニ治リ、而シテ一方此農村ハドウデアアルカト云ヘバ、御承知ノ通り非常ニ窮乏ニ陥ツテ居ル、特ニ此小麥、大麥ト云フガ如キモノハ、農業ニ於ケル所ノ冬作デアリマシテ、米ノ安クナルヨリモ寧ロ此小麥、大麥ガ安クナリマシタナラバ、農村勞働者、竝ニ小作勞働者ガ困ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ドウシテモ是等ノ關稅ヲ免除スルト云フガ如キコトニ相成リマシテハ、農村ヲ苦メルノミナラズ、農業勞働者ヲ苦シメ、且、又此小作爭議ト云フノヲ頻發セシムルノデアリマス、コシデシスミルハニ致シマシテモ其通りデアリマス、是モ農家ノ副業デアリマス、仍テ吾々ハ輸入稅免除廢止ニ關スル建議ト致シマシテ、外國ヨリ輸入スル米、大麥、小麥及コシデシスミルハ、輸入稅ノ免除ハ、國內ニ於ケル其ノ價格ヲ壓迫シ、農村ヲシテ一層窮乏ニ陥ラシムルノ虞アルヲ以テ、政府ハ速ニ是等輸入稅ノ免除

ヲ廢止スヘシ、右建議案」是ダケデアリマス、革新俱樂部カラ提案シタノデアリマスケレドモ、事ハ農村一般ニ關係ノアルコトデアリマスガ故ニ、ドウゾ滿堂ノ御賛成ヲ願ヒマス
○高見之通君 本案ハ非常微發令、承諾ヲ認ムル件外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長〔相谷義三君〕 高見君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次ハ日程第十二、農村振興ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、鷗澤宇八君

第十二 農村振興ニ關スル建議案（大津 淳一郎君外十一名提出）

農村振興ニ關スル建議案

近時生活ノ向上ト物價ノ騰貴トハ農業生産費ヲ著大シ公課ノ増加ト相伴ヒ農村ヲシテ疲弊困乏ノ極ニ陥ラシメムトス國家ノ爲誠ニ深憂ニ耐ヘス政府ハ宜シク前期議會衆議院多數ノ建議ニ鑑ミ更ニ農村不振廢ノ實狀ニ察シ之カ根本的對策ヲ立テ速ニ其ノ實行ヲ期セムコトヲ望ム
右建議案
〔鷗澤宇八君登壇〕

○鷗澤宇八君 會期モ切迫致シテ居リマス此場合デアリマスルカラ、極メテ簡單ニ其要領ノミヲ申上ゲテ置キマス、諸君、今日ノ地方農村ハ、實ニ疲弊困乏ノ極ニ陥ツテ居ルノデアリマス、生産費ガ嵩ムノニ、其收益ハ甚ダ少ナイノデアリマス、然ルニ物價ハ騰貴致シテ居リマスルガ爲ニ、種々ノ生活費ニ追ハレテ、公租諸役ノ重稅ニ苦シミ、子弟ノ教育等ニモ非常ナ多額ノ金ヲ要スルノデ、地方ノ農村ノ困難ナ狀況ト云フモノハ、實ニ名狀スベカラザルモノガアルノデアリマス、吾々ノ地方

ニ一ツノ通語ガアリマスルガ、農家ニ於キマシテハ、稼グニ追付ク貧乏ナシト能ク言フタモノデアリマス、稼グマスレバ必ラズ貧乏スルモノデナイ、身上ハ殘ルモノデアルト云フ、一ツノ農家ヲ勤マス所ノ言葉デアリマス、然ルニ地方ノ農村ハナンボ勤イテモ金ガ殘ラナイ、寧ロ苦シミツ、アルノデアリマス、全ク地方ノ農民ハ朝ハ雞鳴ニ出デ、夜ハ星ヲ戴イテ歸ル、斯ノ如ク能ク朝暗カラ夜迄勤イテモ、生活ノ安定ヲ得ルコトガ出來ナイノガ現在ノ狀況デアアルノデアリマス、諸君、此勤イテモ働イテモ生活ガ出來ナイ——安定ヲ得ルコトノ出來ナイ結果ト致シマシテ、地方ノ農民ノ中デハ、多年住慣レタ所謂祖先傳來暮シテ居ツタ所ノ鄉關ヲ後ニシテ、即チ親戚故舊ニ別レ、墳墓ノ地ヲ離レテ、中央ニ出テ勞働ニ從事スルト云フヤウナ者モ多アルノデアリマス、此結果ドウナルカト云フト、地方ノ農村ハ荒廢ニ歸スルノデアリマス、良田ガ全ク狐狸ノ棲息スルト云フヤウナ場所モ出來ルノデアアル、其結果ト致シマシテハドウナルカト云フト、即チ人口ハ御承知ノ通り年々増加スルニモ拘ラズ、其生産ガ少クナツタナラバ、往年騷動ヲ起シタヤウニ、又米騷動ヲ起スヤウナ事モ無イトモ限ラナイノデアリマス、是ハ單リ地方農村ノ事バカリデハアリマセヌ、都市民ノ最モ思フ此ニ致サナケレバナラナイノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、即チ今春ノ議會ニ於キマシテモ、滿場一致ヲ以テ農村振興ノ決議ヲ致シタノデアリマスルカラ、政府ハ此意味ヲ探ツテ、速ニ農村救済ノ根本政策ヲ立テ、一日モ早クク農村ノ安定、農民ノ生活ノ安定ヲ得ルコトニ圖ラレルコトヲ切ニ希望スルノデアリマス、極ク簡單ニ此一言ヲ以テ本建議案ノ趣旨ト致スノデアリマス（拍手）

○高見之通君 本案ハ森格君外三名提出、相模西

部ノ復興ニ關スル建議案外四件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第十三、震災地方復興ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者吉植庄一郎君

第十三 震災地方復興ニ關スル建議案

(吉植庄一郎君外二十四名提出)

震災地方復興ニ關スル建議案

神奈川縣郡部千葉縣埼玉縣靜岡縣山梨縣ニ於ケル這回ノ震災地方復興ニ關シ政府ハ速ニ適當ノ案ヲ立テ次期議會ニ提出セラレムコトヲ望ム右建議ス

○吉植庄一郎君 當席ヨリ簡單ニ建議案ノ趣意ヲ申述ベマス、政府ガ今回ノ大震災災ニ付テ、既ニ帝都復興ニ關スル豫算及法律案ヲ提出セラレ、數日前ニ本院ノ院議ヲ以テ修正セラレタ、然ルニ神奈川縣、千葉縣、埼玉縣、靜岡縣、其他ノ同ジク今回ノ災害ニ罹ツタル地方ニ對シテハ、從前ノ法律ニ依ツテ、地方廳ノ出願ニ對スル若干ノ補助貸付等ヲ政府ガ致シテハ居リマスケレドモ、是ハ極メテ輕微ナルモノデアツテ、應急ノ施設ニ過ギナイノデアリマス、政府トシテ今回ノ大震災ニ對シテ、中央帝都ノ復興ノミノ經費ヲ要求シ、計畫ヲ定メタノデアリマシテ、未ダ地方ニ對シテハ政府ノ施設トシテ見レベキモノナキコトヲ甚ダ遺憾ト致シテ居リマス、故ニ來ルベキ通常議會ニ對シテ、政府ハ速ニ地方ノ災害復興ニ對スル計畫ヲ定メテ提出セラレンコトヲ希望スルト云フ趣旨デアリマス、何卒諸君ノ御賛成ヲ希ヒマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○高見之通君 本案ハ森恪君外三名提出、相模西部ノ復興ニ關スル建議案外五件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第十四、震災地方復興ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、小泉又次郎君

第十四 震災地方復興ニ關スル建議案

(小泉又次郎君外十三名提出)

震災地方復興ニ關スル建議案

横須賀市神奈川縣郡部千葉縣埼玉縣靜岡縣山梨縣ニ於ケル這回ノ震災地方復興ニ關シ政府ハ速ニ適當ノ案ヲ樹テ次期議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○小泉又次郎君 簡單デアリマスカラ、自席デ説明ヲ御許シテ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 許シマス

○小泉又次郎君 本案ハ只今吉植君ガ其理由トシテ御述ベニナリマシタ通りノ同一ノ案デアリマス、唯、震災地方ノ區域範圍ニ於キマシテ、吉植君ノ案ハ神奈川縣郡部、千葉縣、埼玉縣、靜岡縣、山梨縣、新樣ナ處ニ及ンデ居リマスガ、其意ハ蓋シ東京橫濱ヲ除イタル震災害地全部ヲ合セルト云フニハ相違ナイノデアリマスガ、其字句ノ上ニ於キマシテ、神奈川縣郡部トゴザイマス、神奈川縣中最モ被害ノ激シタル横須賀市ヲ除クノデアリマスカラ、特ニ私ノ案ト致シマシテハ、横須賀市ヲ入レタノデアリマス、其理由ハ重ネテ申上ゲマセヌ、吉植君ノ御述ベニナリマシタ通りノ理由デアリマス、何卒御審議ノ上御賛成アラントラ希望

望致シマス

○高見之通君 本案ハ森恪君外三名提出、相模西部ノ復興ニ關スル建議案外六件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第十五、決議案ヲ議題ト致シマス、提出者原夫次郎君

第十五 決議案(廢止緊急勅令提出ノ件)

(原夫次郎君提出)

決議案

決議

政府ハ大正十二年勅令第三百九十八號大正十二年勅令第四百四號及大正十二年勅令第四百七十八號ヲ帝國憲法第八條第二項ニ基キ速ニ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムヘキモノトス

右決議ス

○原夫次郎君 本員ハ只今上程セラレタル決議案ノ理由ヲ開陳スルニ先ダチマシテ、本員ガ茲ニ此決議案ヲ提出致シマシテ、之ヲ院議ニ訴フルコトノ洵ニ已ムヲ得ザルニ出デタルコトヲ深ク遺憾トスル者デアリマス、サリナガラ事ハ我帝國議會審議權ニ關スル極メテ重大ナル事柄ニ關シテ居リマスガ故ニ、吾々六千萬國民ノ代表者ト致シマシテ、之ヲ看過スルコトガ出來ナイ爲デアリマス、世界何レノ立憲國ニアリマシテモ、必ズヤ政府ト議會トハ互ニ相獨立シ、互ニ對峙致シテ居リマシテ、此二ツノ獨立ノモノハ、時ニ其勢力ノ消長ガアリ、或ハ強弱ガアリマシテ、或ハ官僚政治ノ實現トナリ、或ハ又議院政治ノ實現トナルコトガアルニ致シマシテモ、是ハ洵ニ已ムヲ得ナイ時ノ勢

力關係ニ過ギナイノデ、若シ議會ノ勢力ガ實際ニ強大デアリマスルナラバ、必ズヤ議院政治ガ實現セラレザルヲ得ナイ、歐羅巴各國ノ議院政治ノ如キモノハ即チ是デアリマス、之ニ反シテ若シ君權ノ方ガ實際勢力ガ強大デアリマスル時ニハ、爲ニ帝國議會ナルモノハ此勢力ノ壓迫ヲ受ケマシテ、常ニ官僚政治ガ實現ヲ致スノデアル、サリナガラ、斯ノ如キハ、唯一時ノ勢力ノ均衡如何ト云フコトニ原因スルノデアリマシテ、先程申述ベマシタル如ク、立憲治下ニ於ケル政府ト議會ト相對立致シテ居ル所ノ各自ノ權限其モノニハ、些少タリトモ影響ハ無イノデアリマス、我立憲政治ノ下ニ在リマシテハ、政府ト議會ノ各自ノ權限ニ付テハ、大日本帝國憲法ノ條章ニ明示シテアル所デアリマシテ、此憲法ノ條章ニ依リマシテ、各自ノ權限ヲ超越スルトカ、或ハ其間ニ些少タリトモ蹂躪若クハ侵害等ノ事ハ斷ジテ許サナイノデアリマス、而シテ、我日本帝國憲法第八條ノ規定ヲ以チマシテ、政府ニ許ス所ノ所謂緊急勅令ノ規定事項ナルモノハ、憲法第五條、第六條、第三十七條等ノ規定ヲ綜合統轄致シマシタ時ニハ、其規定事項ハ必ズヤ帝國議會ノ同意ヲ要スベキ所謂法律事項デアアルノデ、決シテ、天皇ノ大權ニ專屬スベキ所謂勅令事項ナルモノデハナイノデアリマス、是ハ我憲法上一貫シタル所ノ法律精神デアアルノデアル、唯、國家非常ノ場合ニ於キマシテ、帝國議會ノ同意ヲ得ルコトガ出來ナイ、所謂緊急ノ場合ニ際會致シマシテ、一時的若クハ暫定のニ此法律事項ヲ勅令ニ依リマシテ發令スルコトヲ得セシメテアル所ノ、眞ニ事情已ムヲ得ザル緊急必要ニ處スル所ノ所謂立法ノ權道デアアルノデアル、故ニ憲法第八條ニ於キマシテハ、其第二項ニ依リマシテ、此緊急勅令ハ政府ヲシテ必ズヤ之ヲ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出スベキコトヲ命ジテ

居ルモノデアアル、是ハ申ス迄モナク、憲法ガ斯ル立法ノ權道ニ出デタルモノハ、成ベク早ク之ヲ立法ノ本然ニ復歸セシメンコトヲ期シタルガ爲デアアルノデアル、故ニ其緊急勅令ハ既ニ廢止ニ歸シタルモノ、即チ譬ヘテ申スナラバ、一旦發シマシタル緊急勅令ヲ後ノ廢止令ニ依ツテ廢止シタルモノハ固ヨリノ事、又一旦發シタル緊急勂令ガ、其緊急勂令ノ規定自體ニ於テ、帝國議會開會前ニ既ニ其效力ヲ失ウテ居ツタモノデアリマシテモ、現ニ效力ヲ存シテ居ル緊急勂令ト等シク、政府ハ皆之ヲ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シテ、其事後承諾ヲ求メナケレバナナイ筋合ノモノデアアルノデアル、而シテ若シ其議會ニ提出シタル勂令ニ致シマシテ、其勂令自體ニ於テ提出前ニ既ニ效力ヲ失フタルモノ、若クハ其提出前ニ既ニ廢止勂令ニ依ツテ其效力ガ廢止セラレタルモノデアッタナラバ、議會ノ審查ニ委セ、承諾ヲ與ヘタルモノハ政府ノ責任解除トナリ、又承諾ヲ與ヘザリシモノハ政府ノ責任ガ殘ルダケデアリマス、此外ニ若シ其提出勂令ニシテ尙モ現ニ效力ヲ存續シテ居ルモノニ付キマシテハ、議會ガ之ニ承諾ヲ與ヘマシタナラバ、其勂令ニ關シ政府ノ行爲ヲ是認シ、政府ノ責任ヲ解除シ、將來其勂令ヲ法律トシテ確定ノ效力ヲ持タスノデアリマシテ、議會ガ若シモ之ニ承諾ヲ與ヘナカツタナラバ、將來ニ向ツテハ全ク效力ヲ失フノデアリマスカラ、憲法第八條第二項後段ニ於キマシテハ、特ニ議會ニ於テ承諾ヲ與ヘザル時ハ、政府ハ固ヨリ將來ニ向ツテ其效力ヲ失フコトヲ公布セナケレバナラヌト云フコトヲ命ジテアルノデアリマス、故ニ此憲法第八條第二項末段ノ規定ガアリマス爲ニ、政府ハ既ニ效力ヲ失フタル緊急勂令ヲ帝國議會ニ提出セズシテ可ナリトノ理由ノ根據ト爲スコトハ出來ナイノデアリマ

ス、言葉ヲ換ヘテ申スナラバ、既ニ效力ヲ失フタル緊急勂令ヲ帝國議會ニ提案セズシテ可ナリト此第八條ノ推理解釋ハ、同條ノ規定自體ニ於キマシテ、斷ジテ斯ル解釋ヲ強要スベキモノデハナイノミナラズ、却テ同條ノ規定ノ性質上、假令效力ヲ失ウタルモノデアアルト否トニ拘ラズ、苟モ緊急勂令タル以上ハ、悉ク皆帝國議會ノ立法審議權ニ屬スルノ故ヲ以チマシテ、政府ハ之ガ事後承諾ヲ求メンケレバナラヌト云フ結論ヲ生ズルノデアリマス、此事ハ既ニ憲法ノ立案者デアアル所ノ伊藤公ノ憲法義解ニモ明ニ註釋致シテアリマスルガ如ク、若シ政府ニシテ此特權ニ託シテ容易ニ議會ノ公議ヲ回避スルノ方便ト爲シ、又以テ容易ニ既定ノ法律ヲ破壞スルニ至ルヤウナコトガアリマシタナラバ、憲法ノ條章ハ空文ニ歸シ、一モ臣民ノ爲ニ保障ヲ爲スコト能ハザラントスルノデアアル、故ニ本條ハ又議會ヲ以テ特權ノ監督者タラシメ、緊急勂令ヲ事後ニ檢査シテ、之ヲ承諾セシムベキコトヲ定メタルモノデアリマシテ、一點ノ疑ノ存スル餘地ハ無イノデアリマス、然ルヲ若シ山本内閣ノ解スルガ如ク致シマシタナラバ、議會ノ閉會中ニ幾ラデモ政府ノ施設如何ニ依ツテ、生殺與奪ノ權ヲ揮フコトガ出來ルノデアリマス、即チ議會閉會中ニ幾多ノ緊急勂令ヲ發シ、議會開會前ニ一舉ニシテ之ヲ廢スルナラバ、其廢シタル重大ナル緊急勂令ハ、之ヲ帝國議會ノ審查ヲ受ケルコトヲ要シナイトスルナラバ、何デモ彼デモ專制政治ヲ行フコトガ出來ル結果トナラザルヲ得ナイノデアリマス、是等ノ事ヲ考ヘマスナラバ、御同前ニ肌寒キヲ感ゼザルヲ得ナイ、又斯ル特權ハ、是ハ英吉利ノ憲法ニ致シマシテモ、亞米利加ノ憲法ニ致シマシテモ、佛蘭西ノ憲法ニ致シマシテモ、又白耳義ノ憲法ニ致シマシテモ、未ダ斯ル大キナル特權ハ認メテハナイノデアアル、唯、斯ル特權ヲ認メテ居ル

ノハ、獨逸諸國ノ憲法ト、輿地利ノ憲法ダケニ認メテアル、此兩國ノ學者達ハ、多少色々ナ議論ヲシテ居ルヤウデアリマスケレドモ、併ナガラ此議論ヲ直ニ我國ニ移シテ之ヲ議論スルト云フコトハ、是ハ國情ヲ異ニシテ居ル我國ニ取ツテハ、全ク無益ノ事デアアル、斯ノ如キ次第デ、既ニ我帝國議會ニ於キマシテハ、去ル二十六年帝國議會ニ於テ鳩山和夫君外四名ノ提案ニ依リマシテ、當時議會閉會中緊急勅令ヲ以テ法律ヲ廢止シ、其緊急勅令ヲ議會ニ提案致サナカッタガ爲ニ、滿場一致ヲ以テ速ニ此法律ヲ廢止シタル緊急勅令ヲ提案セナケレバナラヌト云フコトヲ決議致シテアル、現內閣ニ於キマシテハ、此先例ハ今般ノ場合トハ趣ヲ異ニシテ居ルノデアアル、即チ今度ノ事例ハ戒嚴令一部適用ニ關スル緊急勅令ノ廢止セラレテ居ル今日、又支拂猶豫令其物ハ、既ニ其規定自體ニ於テ效力ヲ失シテ居ルモノデアアルカラ、此三ツノ緊急勅令其物ハ、我帝國議會ニ於テ先例トナツテ居ル所ノ此決議トハ趣ヲ異ニシテ居ルノデアアルカラ、今度ハ矢張政府ノ先例ニ依ツテ之ヲ提案セズシテ可ナリト云フ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ是レノ誤ツテ居ルト云フコトハ、今更茲ニ私が啜々ノ辯ヲ要シナイ所デアリマスカラ、之ニ付テハ述ベマセヌ、我が帝國憲法布カレテ茲ニ三十有餘年、今山本內閣ノ爲ニ、此明白ナル我日本帝國憲法ノ條章ヲ曲解シ、事ヲ先例ニ託シテ本決議案ニ示シテ居ル所ノ三箇ノ緊急勅令、而モ此勅令ノ公布ニ依リテ臣民ノ權利義務ニ多大ノ影響ヲ及ボシタ所ノ此重要ナル勅令ヲ當議會ニ提出セザルト云フコトハ、即チ我帝國議會ノ立法審議權ヲ蹂躪シタルモノト謂ハズシテ何ト申シマセウカ、又現內閣ハ非立憲ノ所置ヲ爲シタルモノト謂ハズシテ何ト申シマセウ、更ニ又山本內閣ノ爲ニ、我が憲政ガ逆轉スルト申サズシテ何ト申シマセウ、更ニ又山本內

閣ハ、所謂憲法政治ノ名ニ於テ、專制政治ノ實ヲ取ルモノデアルト申シタナラバ、山本內閣ハ果シテ憲法政治ニ於テ存立スベキ內閣デアルト云フコトガ言ヒ得ラレマセウカ、ドウデアリマセウカ、斯ノ如キ事態ニ於キマシテ、我が憲法政治ノ爲ニハ、斷ジテ斯カル事例ヲ看過スベカラザル國民ノ代表者ト致シマシテハ、政府ニ對スル正ニ憲法上ノ正當防衛權デアルト謂ハナケレバナラヌ、本員ガ此決議案ヲ提出致シマシタノハ、總テ以上ノ理由ニ基ク所ノモノデアリマス、何卒御審議ノ上、院議ヲ決セラレンコトヲ望ム次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 議事進行ニ付テ横山勝太郎君ヨリ發言ヲ來メラレマシタ、之ヲ許シマス

○横山勝太郎君 極メテ簡單デアリマスカラ、此席カラ御許シテ願ヒマス、只今承ル所ニ依リマスルト、火災保險貸付金ニ關スル委員會ニ於キマシテ其內容ハ能ク分リマセヌガ、審議ヲ停止スルト云フ意味ノ決議ヲシテ散會ヲシタト云フコトヲ承リマシタ、私ノ信ズル所ニ依レバ、委員會ニ於テ審議ヲ停止スルト云フガ如キ決議ヲ爲スト云フコトハ、法規ノ許サザル所デアリマスルノミナラズ、今回ノ震災者ニ對シテ、甚ダ不深切千萬ナル事デアルト私ハ思量致シマス、此故ニ其內容等ヲ能ク存ジマセヌガ、議長ニ於カレマシテ、其真相ヲ至急ニ御確メノ上デ、成ベク速ニ其審議ヲ進メテ、サウシテ決議ヲ得ルヤウニ御取計ヲヒテ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ議長ニ請求シテ置キマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 發言ノ通告ガアリマス、副島義一君

○副島義一君登壇

○副島義一君 諸君、私ハ本決議案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、此決議案ニ於テ含マレテ居ル所ノ

緊急勅令ニ關スルコトハ、事頗ル簡單明瞭ノコトデアリマス、唯、法文ヲ曲解スルコトニ依ツテ、紛糾スル問題トナルノデアアル、元來申ス迄モナイ事デアリマスガ、緊急勅令ハ法律ニ代ルベキ規定デアアル、法律ノ規定、法律ノ範圍ニ變動ヲ及ボス規定デアアル、而シテ法律ハ議會ノ協賛ヲ以テ制定セラル、モノデアアルカラ、法律ノ規定及其範圍ニ變更ヲ及ボスコトハ、即チ議會ノ權限ニ影響ヲ及ボスコトニナルノデアアル、隨テ緊急勅令ハ、假令實際ノ必要上發セラレ、モノデアルトシテモ、之ヲ議會ニ提出シテ、其審査及議決ヲ經ネバナラヌト云フコトハ、議會ノ權限ヲ重ンジ、立憲ノ原則ヲ保護スル所以ノ當然ノ事デアアル、蓋シ緊急勅令ハ例外的ノモノデアリマスカラ、種々ノ條件ヲ具備シタル場合デナケレバ、之ヲ發スルコトハ出來ナイ、其條件等ガ具備セズシテ、濫ニ緊急勅令ヲ發スルコトノナイヤウニ、議會ハ之ヲ審査シ、之ヲ是正スルコトガ出來ネバナラヌ、是ハ尙ホ憲法第七十條ニ於テ、政府ガ財政上ノ緊急處分ヲ爲ス場合モ同様デアアル、御存知ノ如ク歲入歳出ハ豫算ニ依ツテ議會ノ協賛ヲ經ルコトガ常則デアアル、唯、七十條ノ場合ハ例外デアアルカラ、サウ云フ處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ、之ヲ議會ニ提出シテ審査ヲ受ケネバナラヌノデアアル、是ハ議會ノ地位ヲ保護スル、其權限ヲ完タカシムル所以ノ規定デアアル、緊急勅令モ猶ホソレト同様デアアル、若シ此法律事項ヲ勅令デ自由ニ規定シテ、法律ノ規定ヲ變更シテ何等議會ニ審查議決ノ權ヲ與ヘナイト云フコトニスルナラバ、原君モ今述ベラレタ如ク、憲法第五條ニ議會ハ立法權ヲ有シテ居ルト云フコトヲ規定シテ居ル、憲法第三十七條ニ法律ハ議會ノ協賛ヲ經ベシト規定シテ居ル、此規定ガ有名無實ニナルノデアアル、若シ政府ガ議會閉會中ニ於テ、多クノ緊急勅令ヲ發スル、サウシテ法律ヲ行

ハナイ、而シテ議會閉會中ニソレテ廢シテシマツテ、議會ニハ少シモ之ヲ提出シナイ、何等審査議決ノ機會ヲ與ヘナイトスルナラバ、議會ノ權限ハ侵害セラル、コトニナリ、議會ノ面目ハ毀損セラル、コトニナル、ソコデ憲法ハ用意周到デアツテ、サウ云フ危險ノ生ジナイヤウニ、之ヲ議會ニ提出セネバナラスト云フコトヲ規定シテ居ルノデアアル、今更喋々述ベル必要アリマセヌガ、憲法第八條第一項ニハ、緊急勅令ヲ發スベキ條件ヲ規定シテ居ルノデアアル、又其第二項ニハ、此勅令ハ次ノ會期ニ於テ議會ニ提出スベキコトヲ規定シテ居ル、此第二項ニ「此ノ勅令ハ」トアル所ノ之ニ著眼スルコトガ必要デアアル、即チ「此ノ勅令」トアルハ第八條第一項ニ依ツテ發セラレタル勅令ヲ指シテ言フノデアアル、故ニ如何ナル勅令デアツテモ、即チ勅令ガ廢止セラレテモ、或ハ勅令ガ最早ヤ其效力ヲ終ツテ居ル場合デアツテモ、苟モ此第八條第一項ニ依ツテ發セラレタモノデアラナラバ、此第二項ノ規定ニ基イテ議會ニ提出センケレバナラヌノデアアル、即チ議會ガ立法ニ付テ協贊權ヲ有スル地位カラシテモ、又此憲法ノ明文ノ規定カラ見テモ、緊急勅令ヲ發シタル場合ニハ、何時デモ之ヲ議會ニ提出セネバナラスト云フコトハ、一點疑ヲ容ルベキ餘地ハ無いノデアアル、然ルニ今回政府ハ前ニ原君ガ言ハレタ所ノ緊急勅令ニ付テハ、未ダ之ヲ議會ニ提出シテ居ラヌノデアアル、最早此議會ノ會期モ了ヘントシテ居ル今日ニ於テ、尙ホ提出セズニ居ルノデアアル、是ハ實ニ不法不當、議會ノ權威ト面目トヲ蹂躪シ、立憲ノ根本精神ニ違反スル所ノ甚シキモノデアアル(拍手)固ヨリ今回ノ提出ノ緊急勅令ノ實質ニ付テハ、私共必ズシモ反對スル者デハナイ、若シ是ガ提出セラル、ナラバ、之ニ承諾ヲ爲スニ容ナル者デハナイノデアアル、併ナガラ全ク之ヲ提出シナイ、其事ハ不法ノ事デアアル、況ヤ

若シ緊急勅令ノ實質ガ不正不當デアツテ、國家人民ニ害ガアルト云フ場合ニ於テモ、尙ホ政府ノ爲ス儘ニ委セテ、之ヲ議會ニ提出シナイト云フ如キ事ガアルナラバ、即チ是ハ一種ノ專制政治ヲ行フト云フコトニナルノデアアル(ヒヤ／＼)(拍手)或ハ政府ノ方デ言フ所ニ依レバ、緊急勅令ガ議會ノ召集前ニ廢止セラル、カ、又ハ既ニ其效用ヲ終ツテ居ルト云フモノデアラナラバ、之ヲ議會ニ提出スル必要ハ無い、憲法ハサウ云フ緊急勅令ヲ提出スル規定ヲシテ居ルモノデアナイ言ツテ居ルケレドモ、ソレナラバサウ云フ緊急勅令ハ憲法ノ如何ナル條規ニ基イテ發シタルデアアルカ、併ナガラ議會ニ提出スルコトヲ要シナイ緊急勅令ノ發布ヲ認メテ居ル憲法ノ規定ハ無いノデアアル、憲法ノ規定ノ無い所ニ依ツテ政府ガサウ云フ勅令ヲ發シタル云フノハ、憲法違反デアアル、若シモ又緊急勅令ヲ憲法第八條第一項ニ依ツテ發シタルモノデアルト云フナラバ、第二項ノ規定ニ從ツテ議會ニ提出シナケレバナラヌノデアアル、之ヲ提出シナイト云フノハ憲法違反デアアル、若シ緊急勅令ハ將來ニ效力ヲ有スルモノ、ミ議會ニ提出スベシトスルナラバ、ソレヲ發布スルニ付テモ、將來ニ效力ヲ有スルモノ、ミ發布シナケレバナラスト云フコトニナル、併ナガラ憲法ニハサウ云フ制限ハ無い、如何ナル緊急勅令デモ之ヲ發布スルコトガ出來ルト思フト同時に、又之ヲ議會ニ提出シナケレバナラヌコトニナル、是ハ憲法ノ規定スル所、毫モ疑ナイ所デアアル、固ヨリ憲法第八條第二項ノ末段ニ於テ、若シ議會ノ承諾ヲセザル時ハ、政府ハ將來ニ效力ノ無いト云フコトヲ公布スベシト云フコトヲ規定シテアルケレドモ、併ナガラ是ハ唯、緊急勅令ノ將來ニ效力アルコトニ付テノミノ規定デアアル、之ガ爲ニ政府ガ緊急勅令ヲ提出シテ審査ヲ求ムベキ一般ノ義務ヲ決シテ除外シタルモノデハナイ、デ或ハ若シ

緊急勅令ガ發布當時ニ於テ適當デアツテモ、將來ニ效力ヲ保續セシムルコトヲ不當デアルト云フヤウナ場合ニハ、議會ハ承諾スルコトモ出來ナイ、不承諾モスルコトガ出來ナイ、議會ハ困ラダラウト云フヤウナコトヲ先達ハ松本長官ハ言ハレタデアルケレドモ、是ハ餘計ナ心配デアアル、斯カル場合ニ於テ議會ハ何レニ重キヲ置クベキヤ能ク考慮シテ、緊急勅令全體ニ付テ、或ハ承諾ナシ、或ハ不承諾ヲ爲スノデアアル、若シ斯カル場合ニ、議會ハ緊急勅令ヲ將來ニ保續セシムルコトヲヨリ多ク不當トスレバ不承諾スルコトニナル、又將來ニ於テ效力ヲ保續セシメテ差支ナイト云フコトナラバ、承諾スルコトニナル、議會ガ承諾スル承諾ヲシナイト云フコトハ、緊急勅令ノ全般ノ形體ヲ見テ決スルノデアツテ、少シモ議會ニ於テ困ルト云フ問題ハ生ジナイノデアアル、此緊急勅令ニ付テハ、議會モ審査スル權能アルノミナラズ、又審査セネバナラストデアアル、此權限ヲ保護スル爲ニ、立憲ノ原則ヲ保護スル爲ニハ、審査スルコトガ出來ネバナラスト、又審査スル義務ガアル、議會ガ審査スルコト云フ義務ガアルナラバ、其義務ヲ盡スコトノ出來ルヤウニ、政府ニ於テモ之ヲ提出スル義務ガナケレバナラスト、而シテ政府ガ提出スレバ、提出シタ時ニ能ク其詳細ノ説明ヲ爲ス、其説明ヲ聽イテ、議會モ能クソレヲ審査議決スルコトガ出來ルノデアアルカラ、必ズ是ハ政府ニ提出スベキ義務ガアルトシテ、議會ニ於テモソレヲ審査スルコトガ出來ル、而シテ議會ノ權限ヲ完ウスルコトガ出來ルノデアアルカラシテ、ドウシテモ是ハ政府ガ提出シナケレバナラスト、憲法上一點ノ疑ノ無い事デアアル、デ固ヨリ緊急勅令ヲ發シテ、議會ニ提出シナカッタ先例ハアル、併ナガラ先例ガアルト云フコトガ不提出ノ理由ニナルモノデハナイ、若シ不當ノ先例デアラナラバ、之ヲ改ムル

コトガ政治家ノ面目デアル、デ先例ニ於テ之ヲ提出シナカッタノハ、時ノ政府ガ亂暴ノ緊急勅令ヲ發シテ、議會ノ糾彈ヲ恐ル、爲ニ、憲法ヲ曲解シテ提出シナカッタ不吉ナ先例デアル、サウ云フ不吉ナ先例ハ之ヲ改メルト云フコトハ、苟モ誠意誠心ヲ標榜シテ居ル山本内閣ニ於テ、是ハ當然ノ事デアルト謂ハナクテハナラヌ、緊急勅令ヲ發シタナラバ、ソレガ適當デアルカト云フコトヲ議會ニ提出シテ、誠心ヲ打明ケテ議會ノ是正ヲ仰グト云フコトガ、誠意誠心ヲ標榜スル當然ノ事デアル、殊ニ山本内閣ハ第一流ノ政治家ヲ以テ組織セラレテアルト云フコトヲ世ノ中ニ噂セラレテアリマス、第一流デアルナラバ、サウ云フ不吉ノ先例ヲ改ムルト云フコトモ、亦第一ニシナクテハナラヌノデアアル、ソレデナケレバ第一流モ糸瓜モ何

ニモ無イノデアアル、且ツ此緊急勅令ノ問題ニ付テハ、將來議會ノ長キ生活ノ間ニ於テハ、始終起ルベキ問題デアアルカラ、果シテ誠意誠心ヲ有スル山本内閣デアルナラバ、將來ニサウ云フ問題ノ生ジナイヤウニ之ヲ解決シ置クト云フコトハ、非常ニ必要ナ事デアラウト思フノデアアル、私ハ議會ノ面目ト權威ノ爲ニ、此建議案ノ通過セラレンコトヲ希望スルノデアアル、願クハ滿場ノ諸君、全會一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ希望シテ已マヌノデアアル

○高見之通君 本案ハ大正十二年勅令第四百三號承諾ヲ求ムル件、即チ治案維持ノ爲ニスル罰則ノ件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、是ニテ本日ノ日程ヲ終リマシタ、明日ハ會期終了日デアリマスカラ、例ニ依リマシテ午前十時ヨリ開會致スベキデアリマスガ、御承知ノ通り議案モ餘リハ澤

山無イノデアリマスカラ、特ニ午後一時ヨリ開會致ス考デアリマス、其事ヲ御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時二十八分散會